

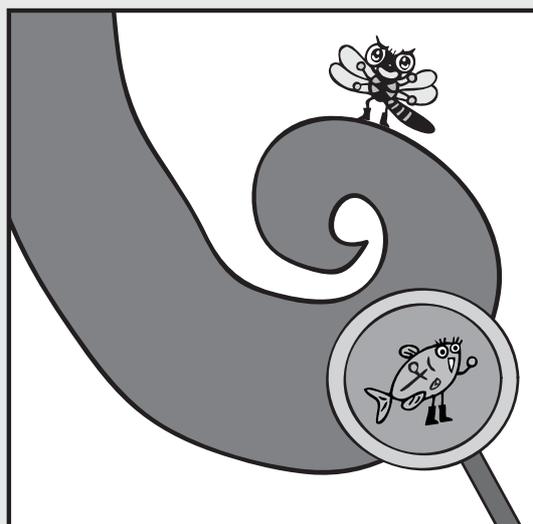
にしのみやの

**生きものを探そう！**

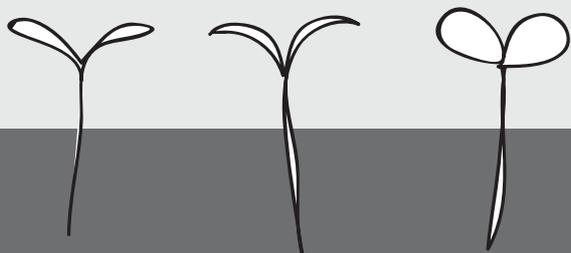
ウォッチング！西宮の自然



平成 15 年度（2003 年度）  
**市民自然調査  
調査結果報告書**



調査期間：2003年6月1日～10月31日



**西宮市**

## ■ はじめに



この調査は、町中や水辺にすむ生きものの分布状況を市民参加で調査し、その結果をまとめるとともに身近な自然に対する関心を高めることを目的に実施いたしました。参加の呼びかけに、小学生から大人まで、約1万1千人の申込をいただき、5千人を超える報告が寄せられました。あらためて、市民の皆さんの環境に対する意識の高さを感じずにはいられませんでした。

わがまちは、山、川、海と豊かな自然環境に恵まれています。調査報告にあわせていただいた意見には、生きものが少ないと感じた、意外に多くの生きものや植物に触れることができた、などさまざまなものがありました。いずれにしても、この調査が身近な自然に気づききっかけになったのではと感じております。

昨年12月、西宮市は、より良い地球環境を次世代に引き継ぐため、市民、事業者、行政が一体となり、地球環境の保全と環境にやさしいまちづくり、地域づくりに取り組む「環境学習都市宣言」を行ないました。皆さんの貴重な調査結果やご意見・ご感想は、今後の施策展開の資料として活用してまいります。すばらしい自然や環境を未来の子どもたちに引き継いでいくためにこの報告書が役立てば幸いです。

最後になりましたが、この調査を実施するにあたり、西宮自然保護協会、西宮市立中学校理科教育研究会をはじめとする多くの方々にご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。

平成16年3月

西宮市長 山田 知

## ■ 目次

|                            |          |                                 |           |
|----------------------------|----------|---------------------------------|-----------|
| <b>I. 調査概要</b> . . . . .   | <b>1</b> | <b>IV. 調査結果へのコメント</b> . . . . . | <b>30</b> |
| <b>II. 調査エリア</b> . . . . . | <b>2</b> | 1. 植物編 . . . . .                | 30        |
| 1. 西宮市の位置と広さ . . . . .     | 2        | 2. 動物編 . . . . .                | 31        |
| 2. 町中の調査エリア . . . . .      | 2        | <b>V. 参加者の声</b> . . . . .       | <b>32</b> |
| 3. 水辺の調査エリア . . . . .      | 4        | 1. アンケート結果 . . . . .            | 32        |
| <b>III. 調査報告</b> . . . . . | <b>6</b> | 2. 調査対象以外の報告 . . . . .          | 33        |
| 1. 町中の自然                   |          | 3. 調査に参加して気づいたこと . . . . .      | 33        |
| 調査結果マップ . . . . .          | 6        |                                 |           |
| 生きもの発見ランキング . . . . .      | 16       |                                 |           |
| 2. 水辺の自然                   |          |                                 |           |
| 調査結果マップ . . . . .          | 18       |                                 |           |
| 生きもの発見ランキング . . . . .      | 28       |                                 |           |

# I. 調査概要

調査目的：市内の町中や水辺にすむ生きものを市民参加で調査することを通じ、市民が見つかる頻度の高い生きものの分布状況をまとめるとともに、身近にすむ生きものや環境に対する関心を高めることを目的とする。

調査期間：2003年6月1日～10月31日

調査方法：調査期間内に町中や河川・海浜・池などで調査対象の生きものを探し、それがどこにいたのかをチェックシートに記録して、期限内にシート提出による調査報告を行う。

調査対象地域：町中・・・市内全域 433 ポイント（町域基準）

水辺・・・市内全域 65 ポイント

（河川 17 水系、海浜 2ヶ所、池 2ヶ所、その他の池など）

参加者数：小学1年生以上の市民（市内在学・在勤者も含む）など 11,335 人

※今回の調査には、個人や家族で参加した方々のほか、夏休みの課題として市内全域で参加した市立中学校1年生（20校 3,187人）をはじめ、市内の多くの学校や団体、企業の方々が参加しました。

報告者数：5,085人

| 年代   | 10歳未満 | 10代  | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 不明 | 合計    |
|------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 報告者数 | 488   | 3993 | 35  | 128 | 120 | 122 | 70  | 29  | 4   | 96 | 5085人 |

## □調査対象の生きもの

| 種類                 | 町中の自然 20種   | 水辺の自然 20種                           |
|--------------------|---|-------------------------------------|
| 鳥類（ちょうるい） 9種       | ツバメ・キジバト・ヒヨドリ・コゲラ   | カワセミ・コサギ・カイツブリ・セグロセキレイ//ハクセキレイ・ハマシギ |
| 哺乳類（ほにゅうるい） 2種     | コウモリ・キツネ  | —                                   |
| 魚類（ぎょるい） 4種        | —   | アユ・オイカワ・フナ・オオクチバス                   |
| 植物（しょくぶつ） 6種       | タンポポ・ヘクソカズラ・ヒガンバナ   | オランダガラシ（クレスン）・ガマ類・カナダモ類             |
| 両生類（りょうせいらい） など 6種 | トカゲ・ヘビ  | ウシガエル・サワガニ・アメリカザリガニ・ヤドカリ            |
| 昆虫（こんちゅう） など 13種   | モンシロチョウ・アオスジアゲハ・ベニシジミ・ゴマダラカミキリ・カマキリ・クマゼミ・カブトムシ・キリギリス・ジョロウグモ | オニヤンマ・ハグロトンボ・アカトンボ類・ホタル             |

## □調査で使ったもの

\* 調査ガイドブック

- ・調査対象の生きもの40種の解説
- ・生きもの調査シート
- ・アンケート

\* 調査マップ

[町中]

- ・西宮市町名コード表

[水辺]

- ・河川地図
- ・水辺の調査ポイント表

## □調査結果のまとめ方

### 1. 生きもの報告結果

調査対象としている40種類の生きものがどこで見られたのかを、過去の調査結果（水辺：1989年、町中：1990年）と比較しながら地図で表示する。

### 2. 生きもの発見ランキング

調査対象の生きものの中から、町中はコミュニティ、水辺は各水系ごとに報告件数の多かった生きものトップ5を紹介する。

# II. 調査エリア

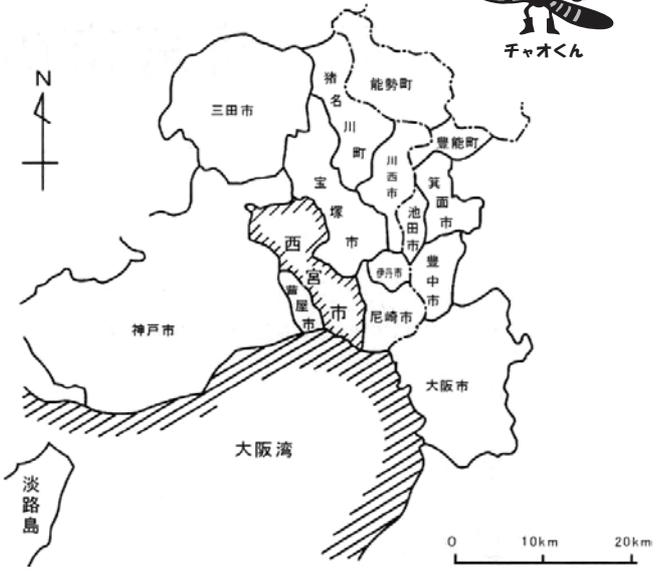
## 1. 西宮市の位置と広さ

西宮市は、兵庫県の南東部、大阪・神戸のほぼ中央に位置し、南は大阪湾に面し、北に六甲の緑を抱き、風光明媚、気候は温順、恵まれた自然的条件を有しています。

西宮市の面積は100.18km<sup>2</sup>で、六甲山系によって西宮市は南部地域と北部地域にほぼ二等分されています。南北19.2km、東西14.2kmにわたり、ひょうたん状に展開しており、その中央部を東西に六甲山系が横断するという地形になっています。

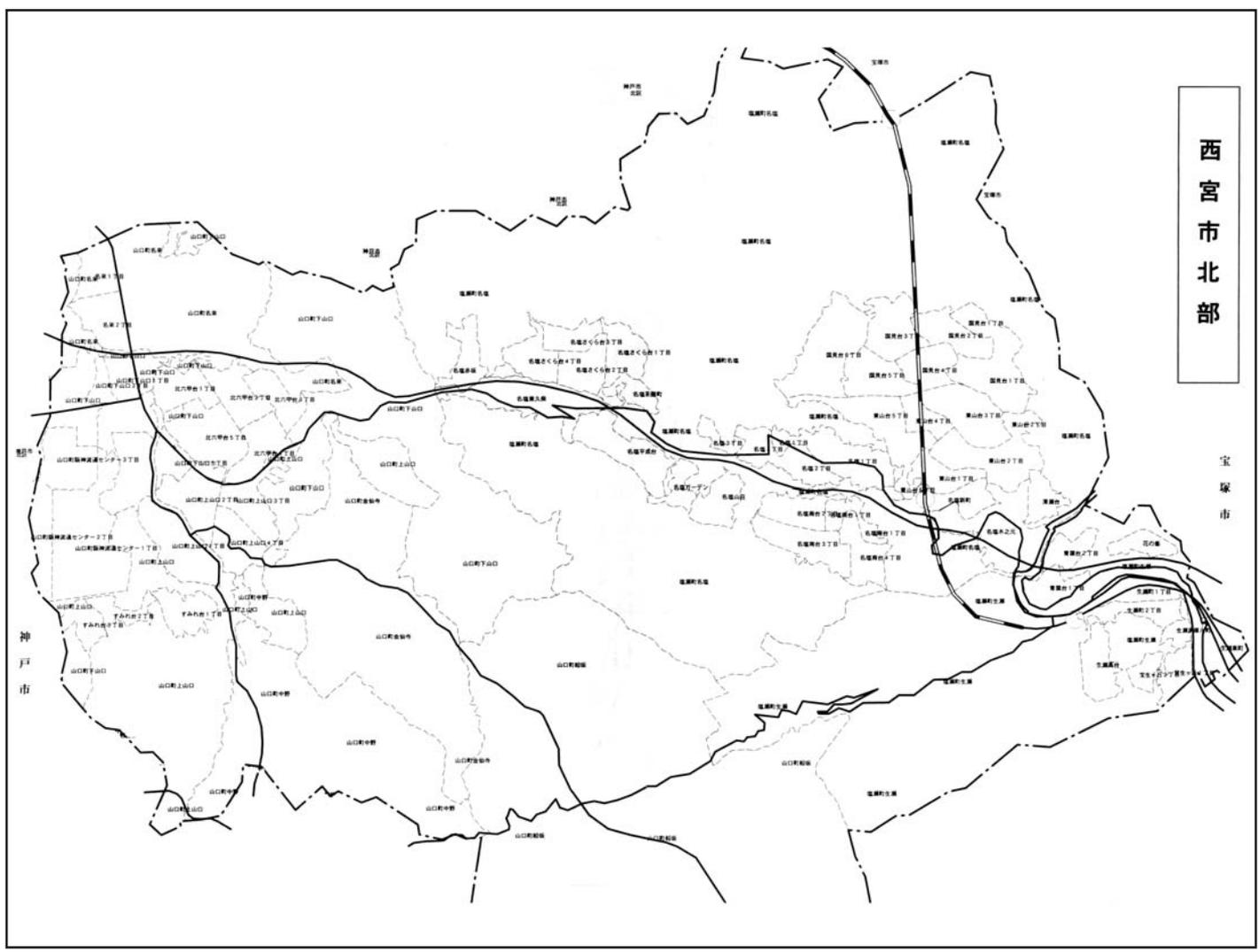
(『西宮の環境(平成14年度版)』より)

にしのみやのまちは、山や川や海にかこまれていて、いろんな生きものがすんでいるんだよ。

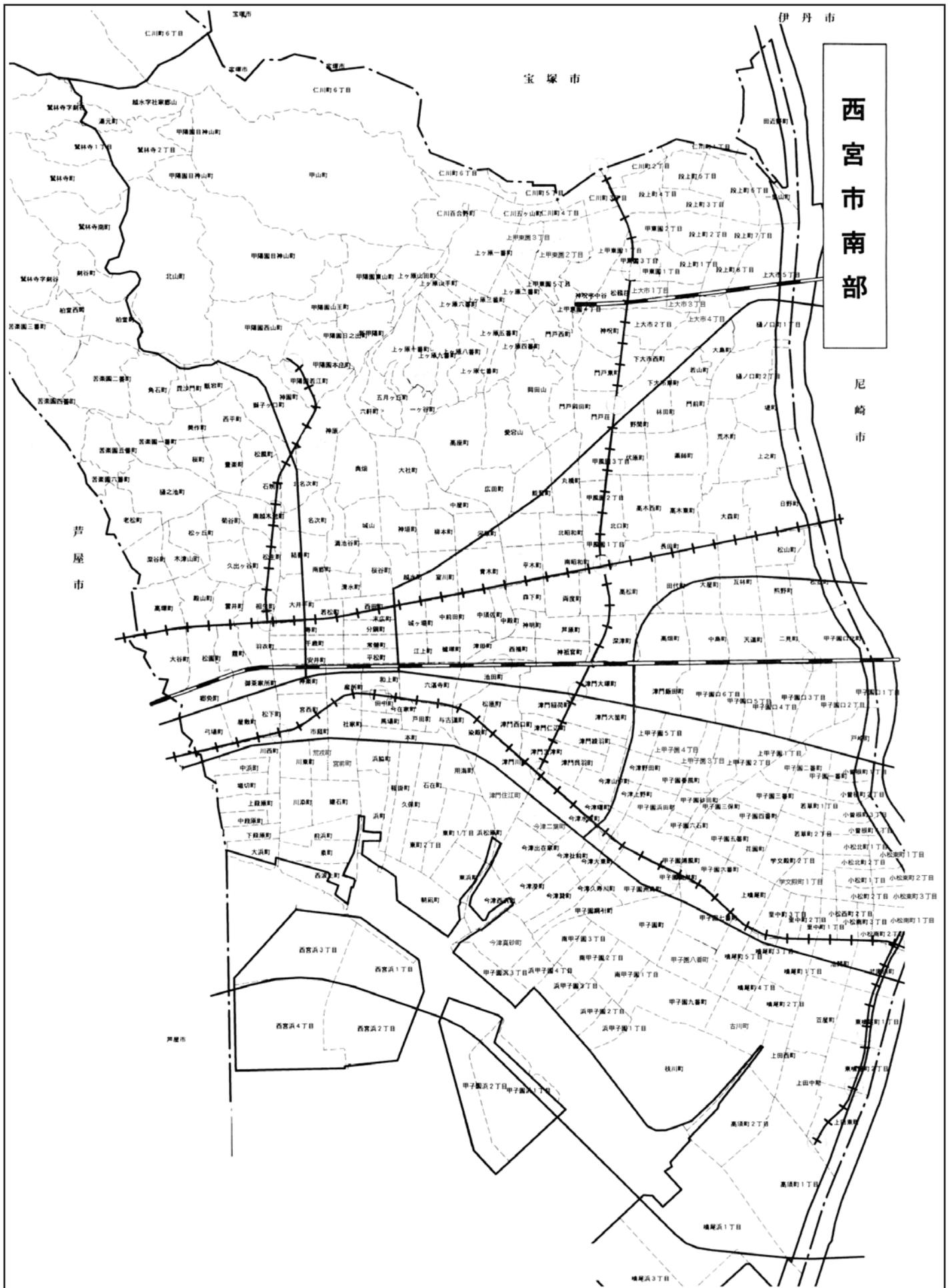


## 2. 町中の調査エリア

### □町界地図(市域北部)



# 町界地図 (市域南部)



西宮市南部

尼崎市

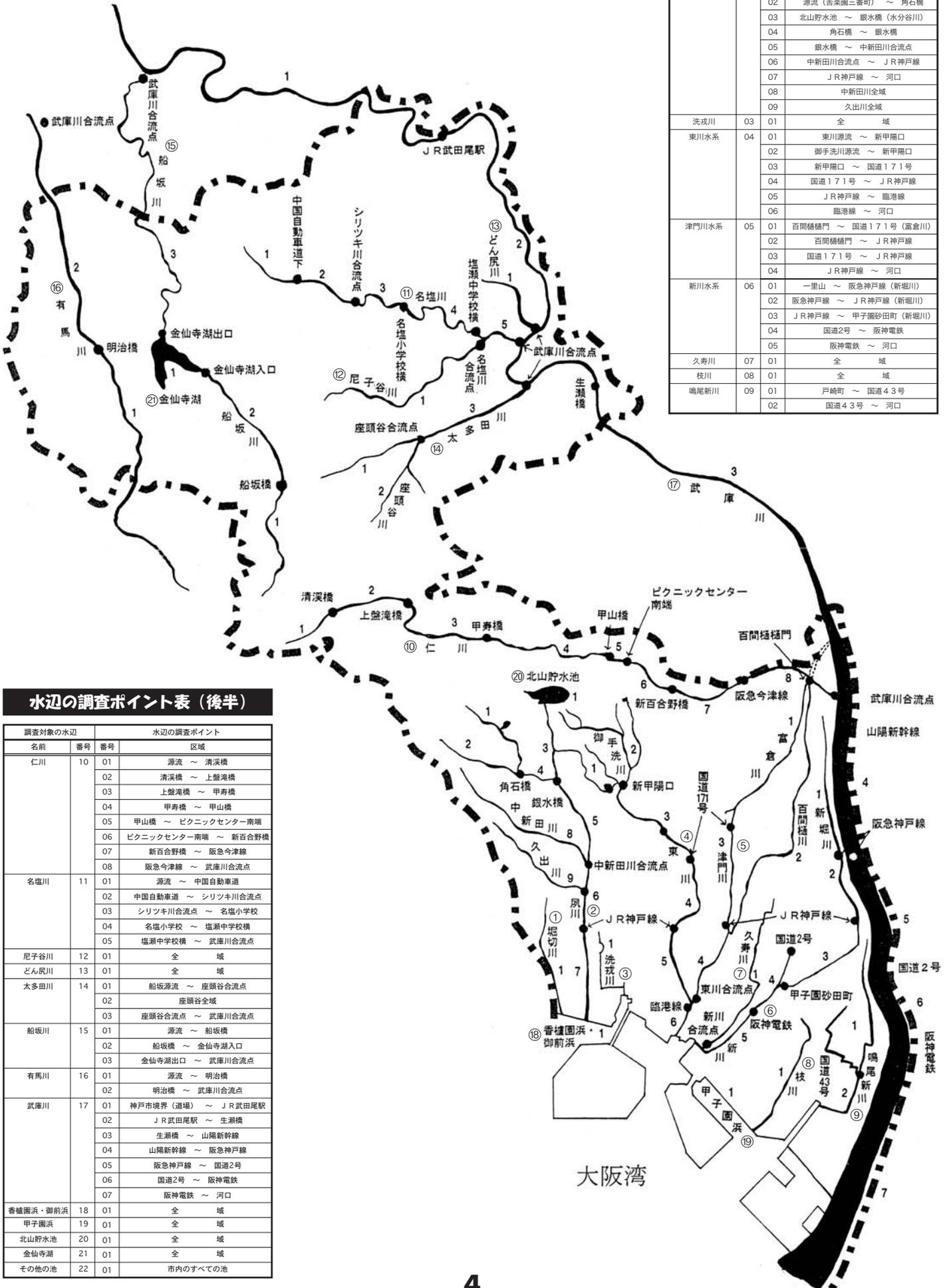
### 3. 水辺の調査エリア

#### □調査対象河川地図

●河川地図で表示されているのは、水辺の番号(①~②)と、河川・海浜・池の調査ポイント番号です。

#### 水辺の調査ポイント表 (前半)

| 調査対象の水辺 |    | 水辺の調査ポイント |                       |
|---------|----|-----------|-----------------------|
| 名前      | 番号 | 番号        | 区域                    |
| 堀切川     | 01 | 01        | 全 域                   |
| 夙川水系    | 02 | 01        | 上夙川 (鷺林寺町奥) ~ 角石橋     |
|         |    | 02        | 源流 (苦楽園三番町) ~ 角石橋     |
|         |    | 03        | 北山貯水池 ~ 銀水橋 (水分谷川)    |
|         |    | 04        | 角石橋 ~ 銀水橋             |
|         |    | 05        | 銀水橋 ~ 中新田川合流点         |
|         |    | 06        | 中新田川合流点 ~ J R神戸線      |
|         |    | 07        | J R神戸線 ~ 河口           |
|         |    | 08        | 中新田川全域                |
|         |    | 09        | 久出川全域                 |
| 洗戎川     | 03 | 01        | 全 域                   |
| 東川水系    | 04 | 01        | 東川源流 ~ 新甲陽口           |
|         |    | 02        | 御手洗川源流 ~ 新甲陽口         |
|         |    | 03        | 新甲陽口 ~ 国道171号         |
|         |    | 04        | 国道171号 ~ J R神戸線       |
|         |    | 05        | J R神戸線 ~ 臨港線          |
|         |    | 06        | 臨港線 ~ 河口              |
| 津門川水系   | 05 | 01        | 百間樋樋門 ~ 国道171号 (富倉川)  |
|         |    | 02        | 百間樋樋門 ~ J R神戸線        |
|         |    | 03        | 国道171号 ~ J R神戸線       |
|         |    | 04        | J R神戸線 ~ 河口           |
| 新川水系    | 06 | 01        | 一里山 ~ 阪急神戸線 (新堀川)     |
|         |    | 02        | 阪急神戸線 ~ J R神戸線 (新堀川)  |
|         |    | 03        | J R神戸線 ~ 甲子園砂田町 (新堀川) |
|         |    | 04        | 国道2号 ~ 阪神電鉄           |
|         |    | 05        | 阪神電鉄 ~ 河口             |
| 久寿川     | 07 | 01        | 全 域                   |
| 枝川      | 08 | 01        | 全 域                   |
| 鳴尾新川    | 09 | 01        | 戸崎町 ~ 国道43号           |
|         |    | 02        | 国道43号 ~ 河口            |



#### 水辺の調査ポイント表 (後半)

| 調査対象の水辺  |    | 水辺の調査ポイント |                      |
|----------|----|-----------|----------------------|
| 名前       | 番号 | 番号        | 区域                   |
| 仁川       | 10 | 01        | 源流 ~ 清溪橋             |
|          |    | 02        | 清溪橋 ~ 上盤滝橋           |
|          |    | 03        | 上盤滝橋 ~ 甲寿橋           |
|          |    | 04        | 甲寿橋 ~ 甲山橋            |
|          |    | 05        | 甲山橋 ~ ビックニックセンター南端   |
|          |    | 06        | ビックニックセンター南端 ~ 新百合野橋 |
|          |    | 07        | 新百合野橋 ~ 阪急今津線        |
|          |    | 08        | 阪急今津線 ~ 武庫川合流点       |
| 名塩川      | 11 | 01        | 源流 ~ 中国自動車道          |
|          |    | 02        | 中国自動車道 ~ シリツキ川合流点    |
|          |    | 03        | シリツキ川合流点 ~ 名塩小学校     |
|          |    | 04        | 名塩小学校 ~ 塩瀬中学校橋       |
|          |    | 05        | 塩瀬中学校橋 ~ 武庫川合流点      |
| 尼子谷川     | 12 | 01        | 全 域                  |
| どん尻川     | 13 | 01        | 全 域                  |
| 太多田川     | 14 | 01        | 船坂源流 ~ 座頭谷合流点        |
|          |    | 02        | 座頭谷合流点 ~ 武庫川合流点      |
|          |    | 03        | 座頭谷合流点 ~ 船坂橋         |
| 船坂川      | 15 | 01        | 源流 ~ 船坂橋             |
|          |    | 02        | 船坂橋 ~ 金仙寺湖入口         |
|          |    | 03        | 金仙寺湖出口 ~ 武庫川合流点      |
| 有馬川      | 16 | 01        | 源流 ~ 明治橋             |
|          |    | 02        | 明治橋 ~ 武庫川合流点         |
| 武庫川      | 17 | 01        | 神戸市境界 (道場) ~ J R武田尾駅 |
|          |    | 02        | J R武田尾駅 ~ 生瀬橋        |
|          |    | 03        | 生瀬橋 ~ 山陽新幹線          |
|          |    | 04        | 山陽新幹線 ~ 阪急神戸線        |
|          |    | 05        | 阪急神戸線 ~ 国道2号         |
|          |    | 06        | 国道2号 ~ 阪神電鉄          |
|          |    | 07        | 阪神電鉄 ~ 河口            |
| 香櫛園浜・御前浜 | 18 | 01        | 全 域                  |
| 甲子園浜     | 19 | 01        | 全 域                  |
| 北山貯水池    | 20 | 01        | 全 域                  |
| 金仙寺湖     | 21 | 01        | 全 域                  |
| その他の池    | 22 | 01        | 市内のすべての池             |

## □調査対象の水辺紹介

西宮市の河川は東六甲山地を中心として放射状に流れ、夙川、東川、新川等の表六甲山系河川と武庫川水系河川に分かれています。また市内には水源池などの池や海浜があり、市民だけでなくさまざまな生きものたちの憩いの場にもなっています。

### 3. 洗戎川 (あらえびすがわ)



◎写真は浜町・建石町付近。

### 4. 東川水系 (ひしがわすいけい)



◎写真は国道171号～JR神戸線間。

### 1. 堀切川 (ほりきりがわ)



◎写真は堀切町付近。

### 2. 夙川水系 (しゅくがわすいけい)



◎写真は銀水橋～中新田川合流点間。

### 5. 津門川水系 (つとがわすいけい)



◎写真は国道171号～JR神戸線間。

### 6. 新川水系 (しんかわすいけい)



◎写真はJR神戸線～甲子園砂田町間(新堀川)。

### 7. 久寿川 (くすがわ)



◎写真は甲子園浜田町付近。

### 8. 枝川 (えだがわ)



◎写真は甲子園九番町付近。

### 9. 鳴尾新川 (なるおしんかわ)



◎写真は国道43号～河口間。

### 10. 仁川 (にがわ)



◎写真は新百合野橋～阪急今津線間。

### 11. 名塩川 (なじおがわ)



◎写真は名塩小学校～塩瀬中学校横間。

### 12. 尼子谷川 (あまこたにがわ)



◎写真は塩瀬町生瀬「尼子谷」付近。

### 13. どん尻川 (どんじりがわ)



◎写真は武庫川合流地点付近。

### 14. 太多田川 (おたたがわ)



◎写真は座頭谷付近。

### 15. 船坂川 (ふなさかがわ)



◎写真は船坂橋～金仙寺湖入口間。

### 16. 有馬川 (ありまがわ)



◎写真は源流～明治橋間。

### 17. 武庫川 (むこがわ)



◎写真は生瀬橋～山陽新幹線間。

### 18. 香檀園浜 (こうらんえんはま)・御前浜 (おまえはま)



◎写真は堀切川河口から西宮大橋を望む。

### 19. 甲子園浜 (こうしえんはま)



◎写真は甲子園浜から六甲山系を望む。

### 20. 北山貯水池 (きたやまちよすいち)



◎写真は甲山山麓から北山浄水場方面を望む。

### 21. 金仙寺湖 (きんせんじこ)



◎写真は丸山山麓から船坂川上流方面を望む。

にしのみやには  
いろんな川や池や海が  
あるんだよ。  
みんなの住んでい  
るところには、どんな  
水辺があるかな？



みつげちゃん

# III. 調査報告

## 1. 町中の自然

### <調査結果マップ>

- それぞれの生きものが報告された町域ポイントを色塗りで表示しています。
- 今回の調査結果と過去の調査結果（1990年実施）を比較できるように並べて掲載しています。

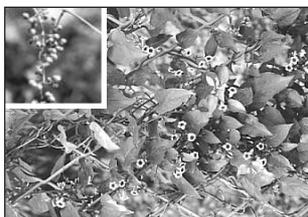
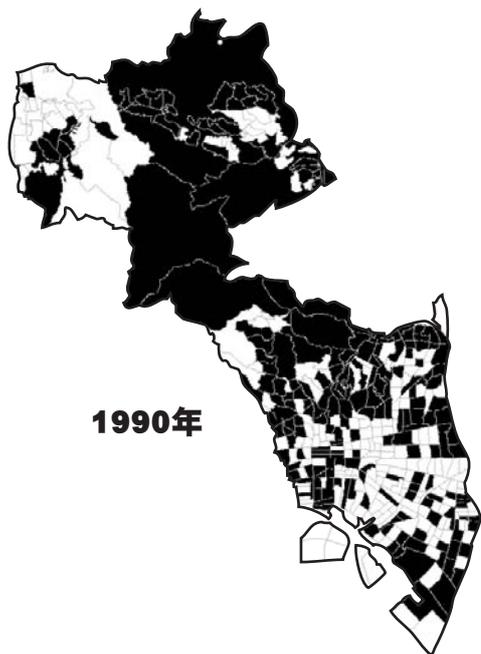
#### ① タンポポ



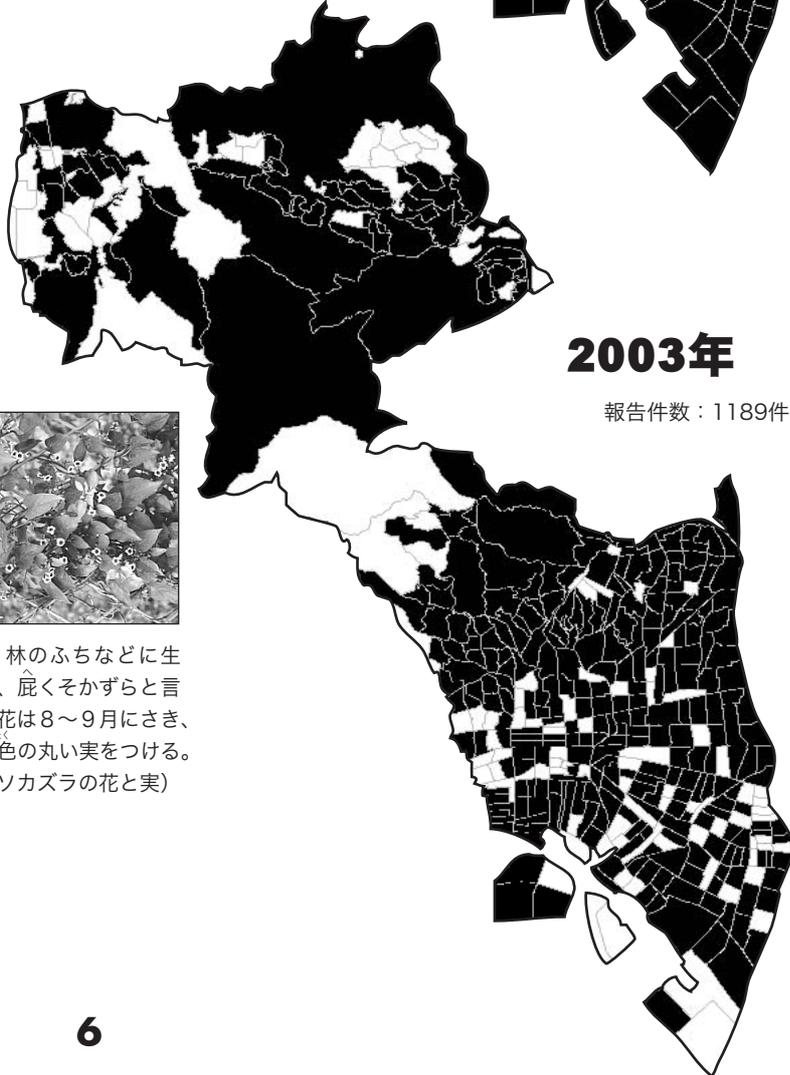
春がすぎても道ばたや空き地でさいているのは、ヨーロッパからうつされたセイヨウタンポポやアカミタンポポ。自然が少ない町にも育ち、もともとあったカンサイタンポポは少なくなっている。  
(写真はセイヨウタンポポ)



#### ② ヘクソカズラ



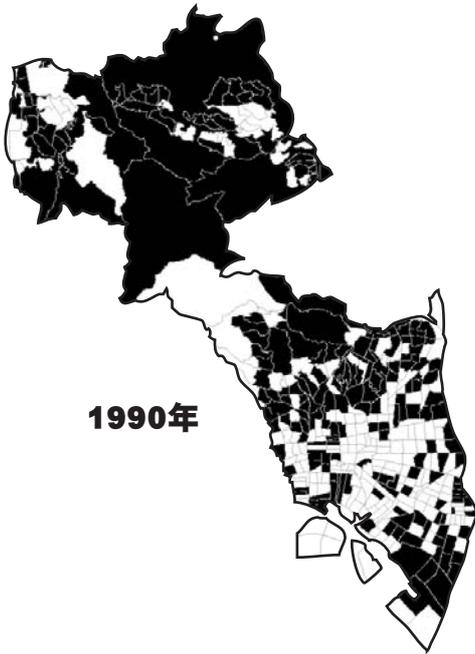
のほろ野原ややぶ、林のふちなどに生えるつる草で、屁くそかずらと言われている。花は8～9月にさき、その後、黄褐色の丸い実をつける。  
(写真はヘクソカズラの花と実)



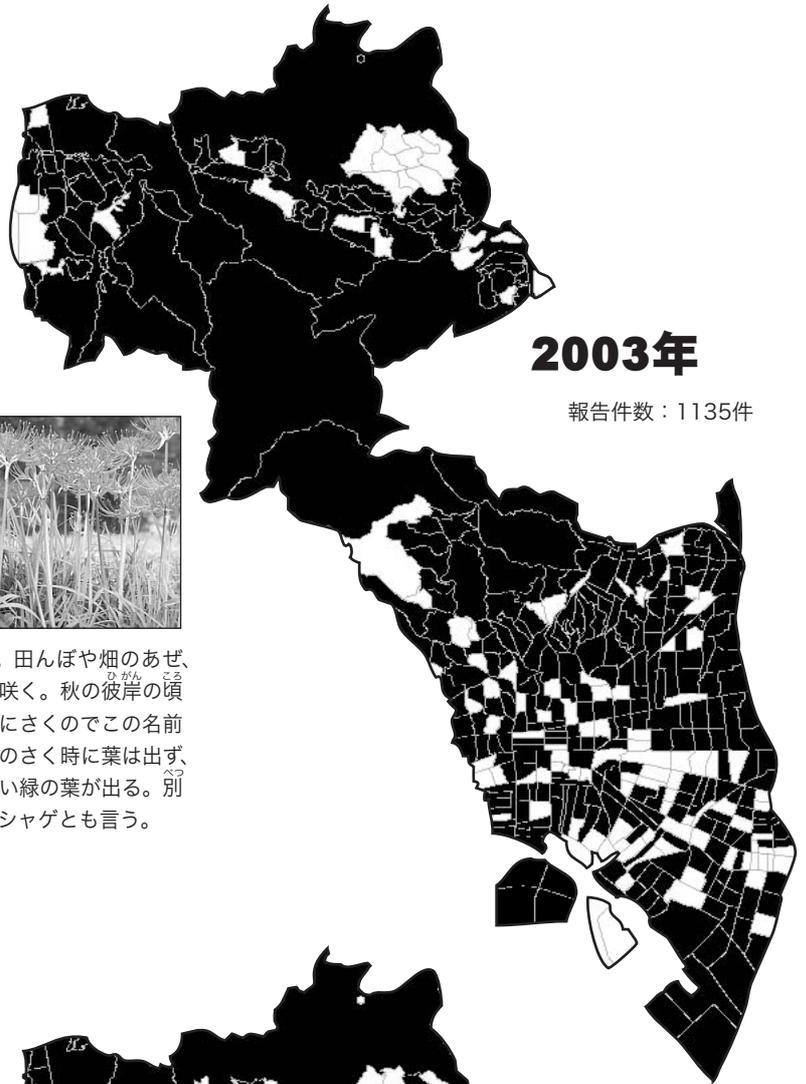
今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！



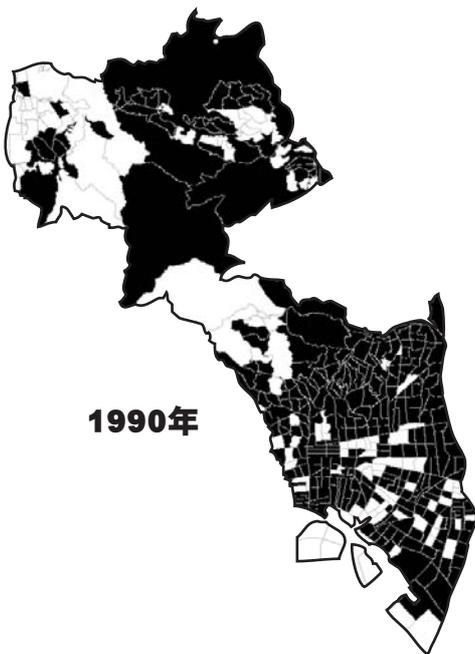
### ③ヒガンバナ



高さ30cm。田んぼや畑のあぜ、お墓の近くに咲く。秋の彼岸の頃（9～10月）にさくのでこの名前がついた。花のさく時に葉は出ず、秋から冬にこい緑の葉が出る。別名、マンジュシャゲとも言う。



### ④コウモリ



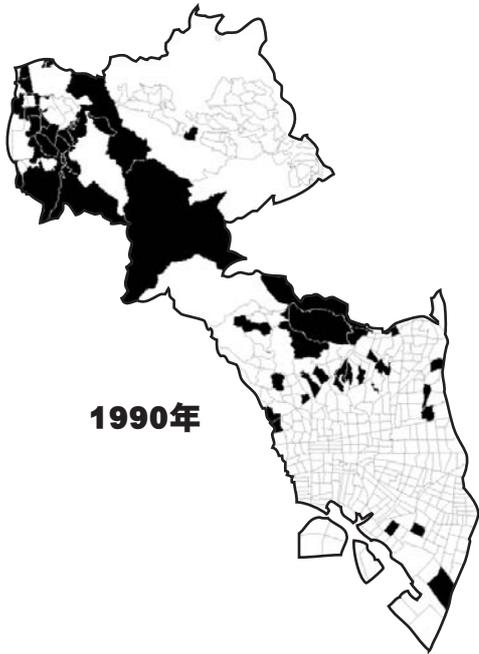
頭から胴までは6～7cm。飛んでいるユスリカなどの小昆虫を、超音波を出してキャッチし、つかまえて食べる。野原や川の上空を、夕方から飛びまわっている。夜行性のため昼間は見かけない。（写真はイエコウモリ）



今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！



## ⑤キツネ



1990年



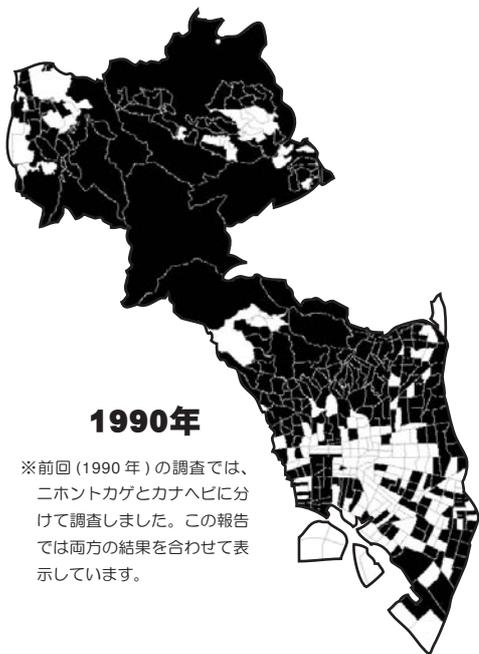
頭から胴の長さ60~70cmで尾の長さ40~50cm。イヌよりもほっそりして、口先がとがり、尾がふさふさしている。夜行性で、日没後に活動する。エサはノネズミやノウサギなどで、林などにすみ、土中に巣穴を掘っている場合が多い。



2003年

報告件数：135件

## ⑥トカゲ

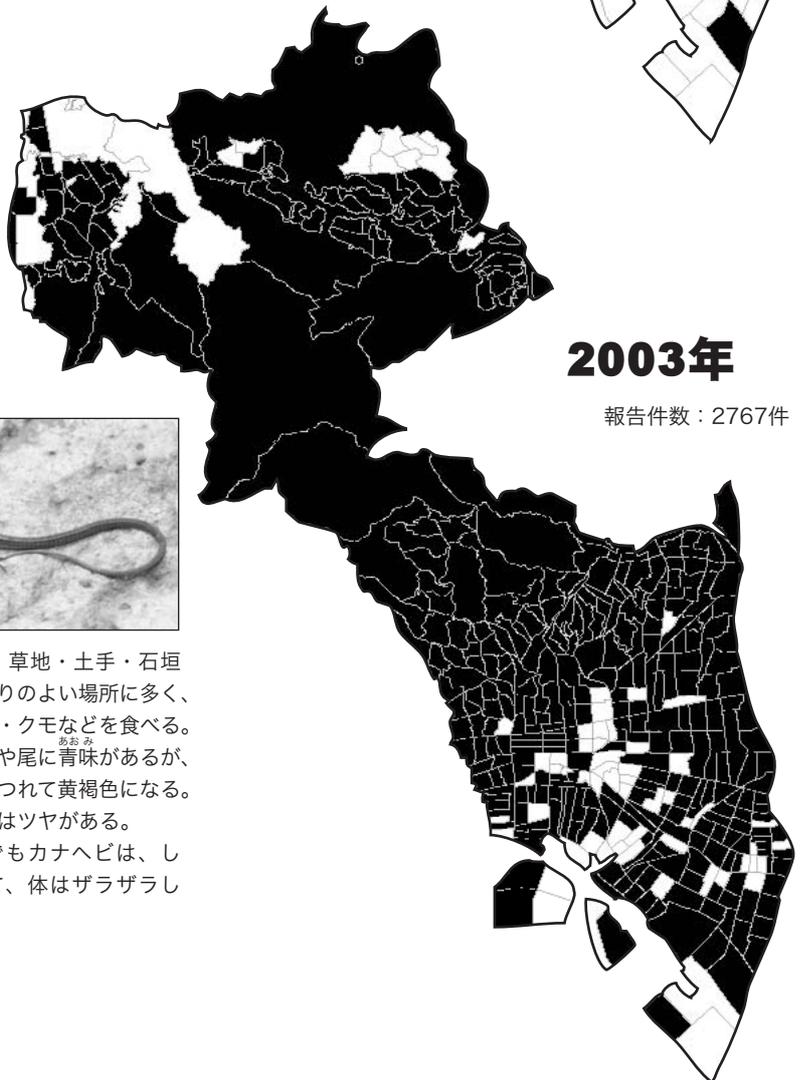


1990年

※前回(1990年)の調査では、ニホントカゲとカナヘビに分けて調査しました。この報告では両方の結果を合わせて表示しています。



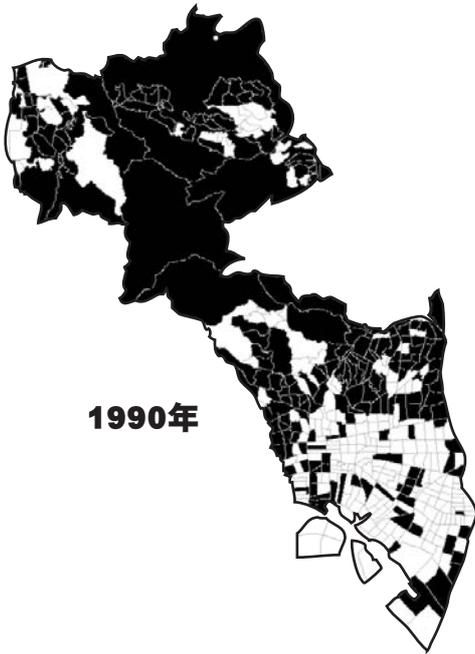
16~25cm。草地・土手・石垣などの日当たりのよい場所に多く、昆虫・ミミズ・クモなどを食べる。若いときは体や尾に青味があるが、大きくなるにつれて黄褐色になる。全体として体はツヤがある。トカゲの中でもカナヘビは、しっぽが長くて、体はザラザラしている。



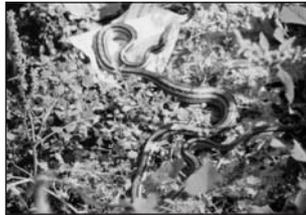
2003年

報告件数：2767件

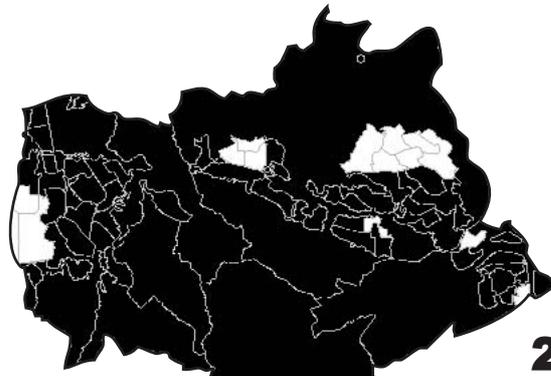
## ⑦ヘビ



1990年



アオダイショウは全長1~2mの大きなヘビで、人家付近にすみ、ネズミなどを食べる。親ヘビは青味がかかった褐色の4本の暗いたてじまがある。シマヘビは1~1.5mで、はっきりした4本のたてじまがある。(写真はシマヘビ)

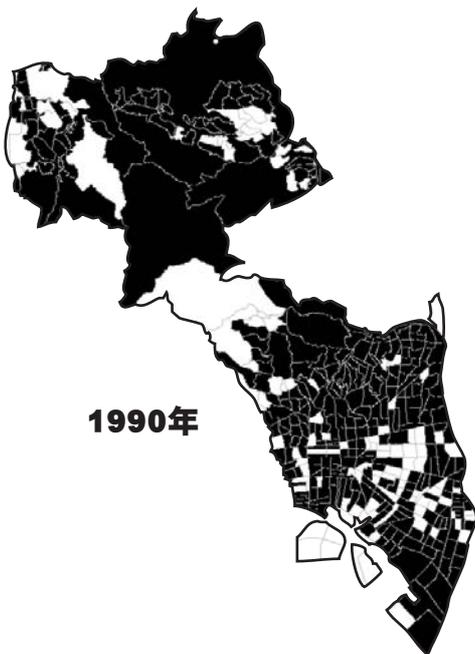


2003年

報告件数：1078件



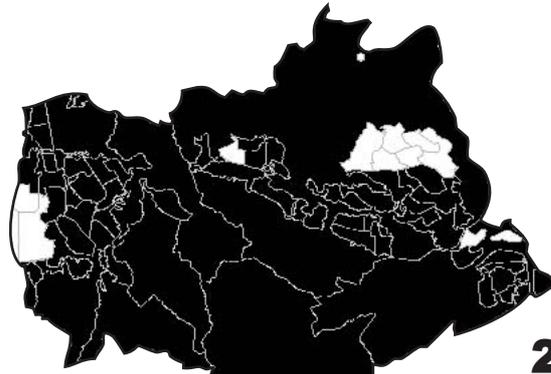
## ⑧ツバメ



1990年



全長約17cm。つやのある黒色の体で、額とのがが赤い。水田や道路、川の上空を勢いよく飛び、くちばしを大きく開いて飛んでいる虫をのみこむ。3月末~9月頃まで日本にいる渡り鳥。家の軒下に巣を作る。



2003年

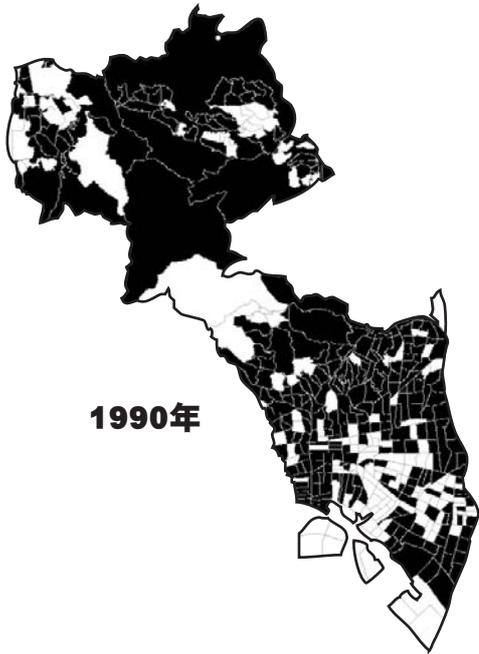
報告件数：3491件



今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！



## ⑨ キジバト



1990年



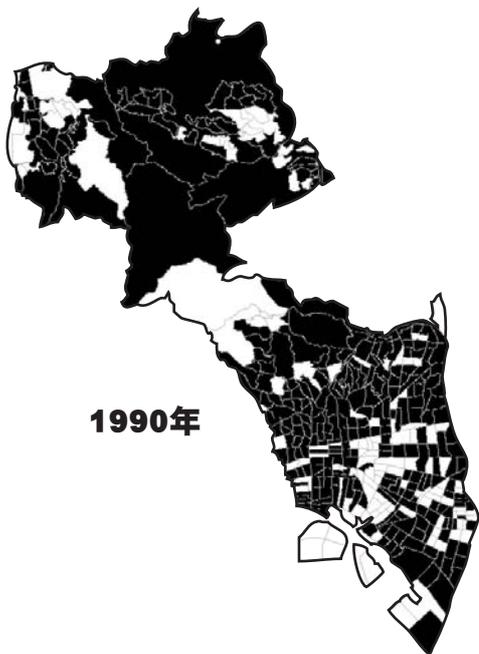
全長約33cm。以前は山<sup>やま</sup>里<sup>ざと</sup>の林の中<sup>ちゆう</sup>にすんでいたが、最近<sup>さいじん</sup>は公園<sup>こうえん</sup>や街路樹<sup>がいじゆ</sup>などに巣<sup>す</sup>を作り、草<sup>くさ</sup>の種子<sup>しゆじ</sup>や木<sup>き</sup>の実<sup>み</sup>を食べる。背中<sup>せなか</sup>とつばさにオレンジ・青色<sup>せいしよく</sup>のまざったうろこ<sup>うろこ</sup>模様<sup>もよう</sup>。一年<sup>いちねん</sup>中<sup>ちゆう</sup>見<sup>み</sup>られる留鳥<sup>りゆうちゆう</sup>。「デッポッポー」と鳴く。



2003年

報告件数：2730件

## ⑩ ヒヨドリ



1990年



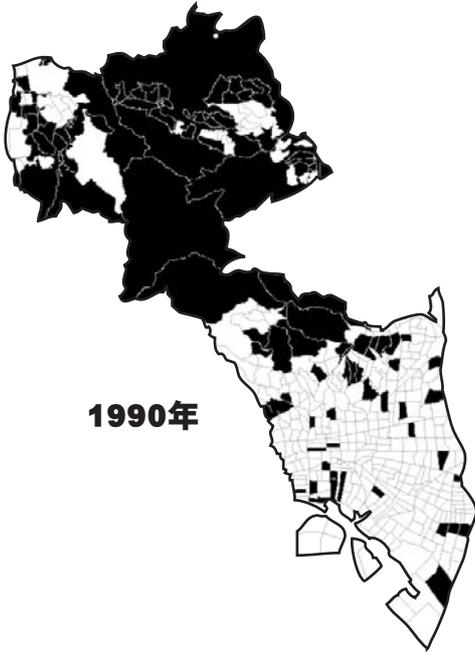
全長約28cm。近年<sup>さいねん</sup>、町中<sup>まちちゆう</sup>の庭木<sup>にわぎ</sup>や雑木林<sup>ざつぎりん</sup>によくおり、花<sup>はな</sup>の蜜<sup>みつ</sup>、木<sup>き</sup>の実<sup>み</sup>、柿<sup>かき</sup>などの果実<sup>かじつ</sup>、昆虫<sup>こんちゆう</sup>を食べる。波形<sup>なみがた</sup>をえがいて飛び、体<sup>てい</sup>は灰色<sup>かいしよく</sup>で、ほかに褐色<sup>ちやくしよく</sup>のもようがある。「ヒーヨヒーヨ」と大きな声<sup>こゑ</sup>で鳴く留鳥<sup>りゆうちゆう</sup>。



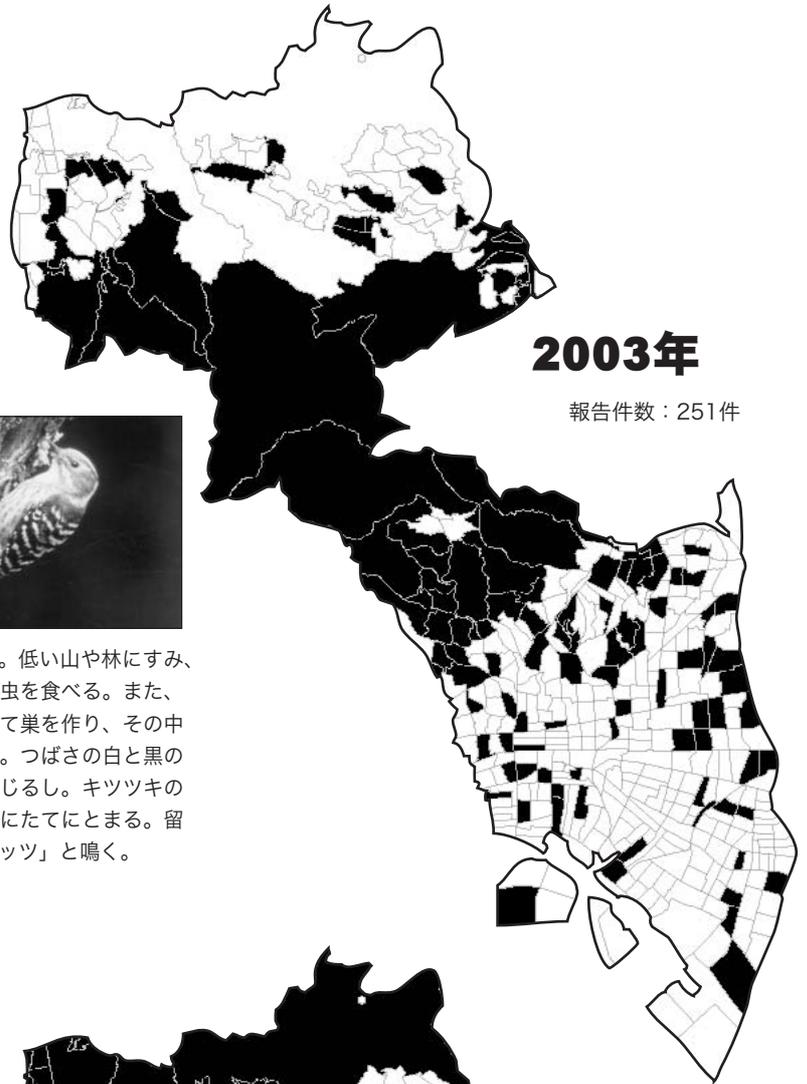
2003年

報告件数：1340件

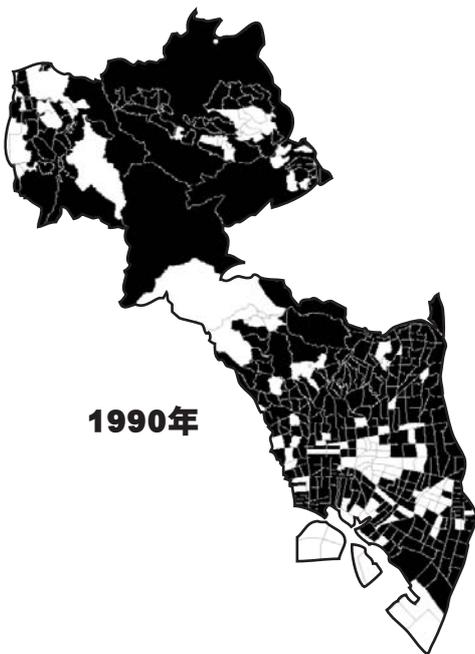
## ⑪ コゲラ



全長約15cm。低い山や林にすみ、木の中にある虫を食べる。また、木に穴をあけて巣を作り、その中で子を育てる。つばさの白と黒のしま模様がめじるし。キツキの仲間みぎで木の幹にたてにとまる。留鳥で「ギイーツ」と鳴く。



## ⑫ モンシロチョウ



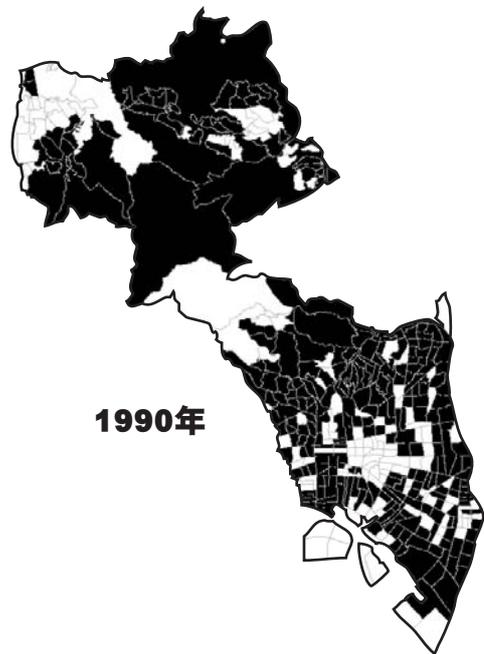
はねを広げた長さ25~30mmで、3月頃から見られる。アブラナ科のキャベツなどに卵を産みつけ、幼虫はその葉を食べて成長する。畑などがへっていることから、町中で見つけにくくなったと言われている。



今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！



### ⑬ アオスジアゲハ



1990年



はねを広げた長さ40~50mmで、4月頃から公園や神社などで見られる。クスノキ科しほもくの樹木に卵を産みつけ、幼虫はそこで成長する。もともとは照葉樹林しょうようじゆりんの間やその周辺しゅうへんにいたが、町中にも見られるようになってきた。

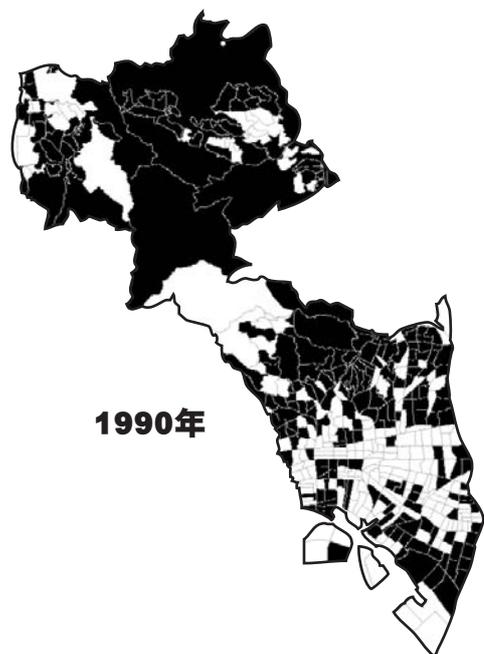


2003年

報告件数：2877件



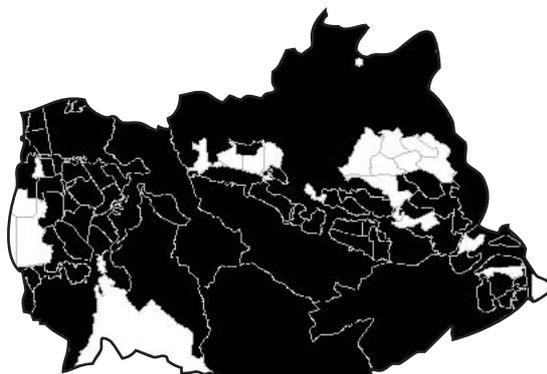
### ⑭ ベニシジミ



1990年



はねを広げた長さ14~17mmで、3~11月に見られる。平地の都市部から高地まで広範囲におり、すばやく動くが、あまり遠くまで飛ばない。卵はタデ科のスイバやギシギシに産む。

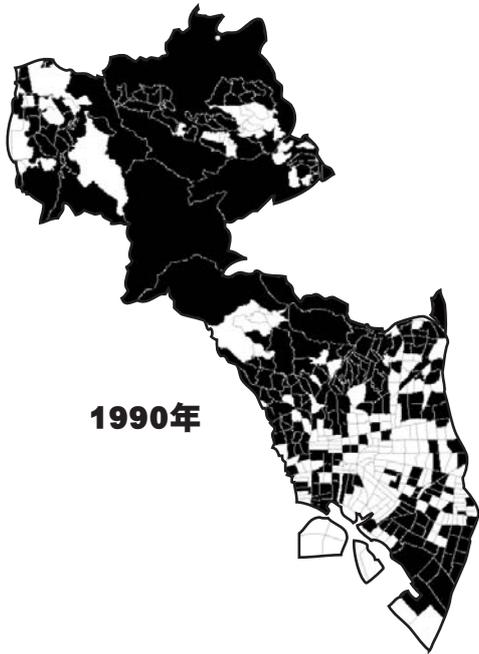


2003年

報告件数：1492件



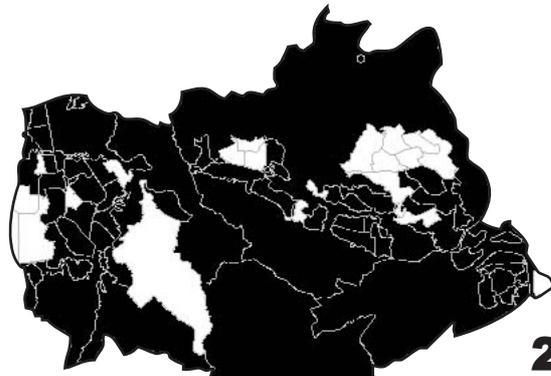
## ⑮ ゴマダラカミキリ



1990年



体長は25～35mm。6～9月にヤナギ類、ミカン類、イチジク、ポプラなどの樹木に集まり、樹の皮や葉を食べる。学校の校庭でもよく見られ、チイチイと音を出したりする。

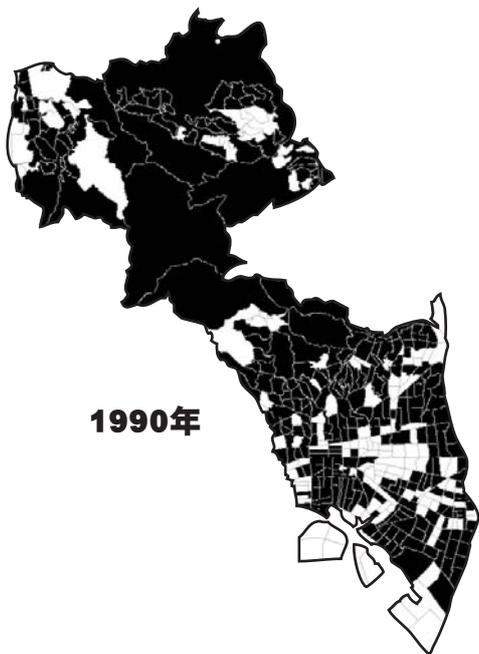


2003年

報告件数：1146件



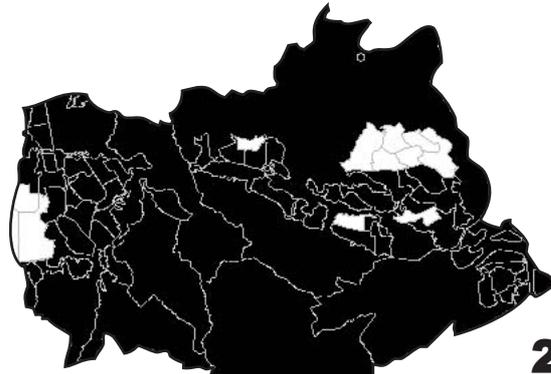
## ⑯ カマキリ



1990年



体長は60～85mmで、成虫は9～11月に田んぼの横や草原などの明るい所におり、小昆虫を大きなカマでつかまえて食べる肉食。泡状の卵を草の茎などに産みつける。日本には、2科10種ほどが分布している。



2003年

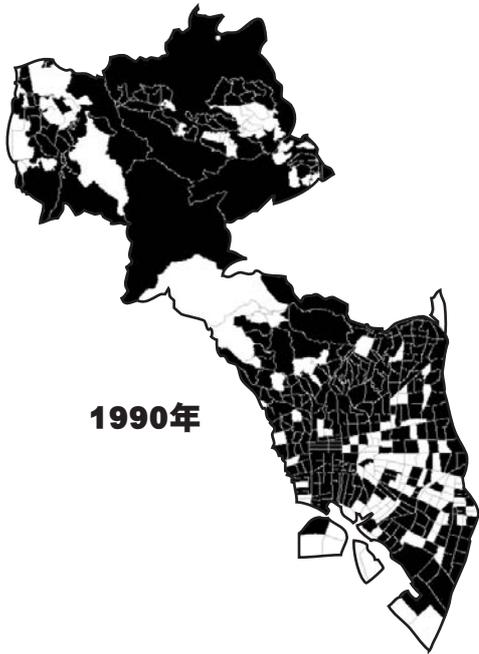
報告件数：2763件



今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！



## ⑪クマゼミ



体長45～52mmの大型のゼミ。  
はねは透明で体は黒くつやがある。  
7月中旬～9月上旬のおもに午前中、  
木の枝などで「シャアシャア」と  
元気よく鳴く。近年町中でもよく  
見かけるようになっている。



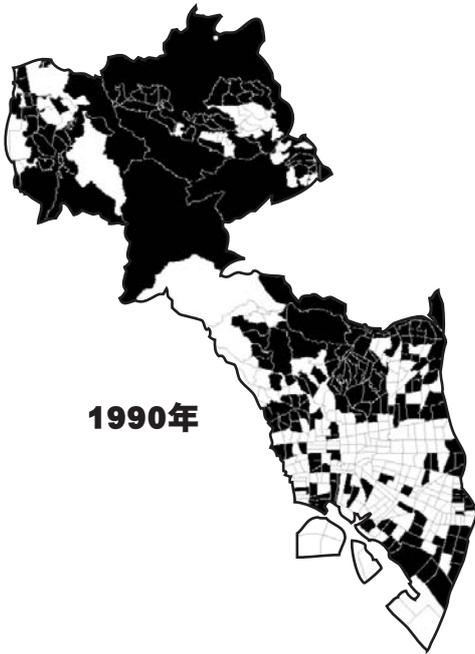
## ⑱カブトムシ



体長は30～50mmで、日本の甲  
虫の中では最大。雑木林などに  
すみ、コナラ・クヌギなどの樹  
液や果実の汁に集まる。幼虫は  
腐葉土の中で一年かけて成長し、  
初夏にさなぎから成虫になって  
地上に出てくる。



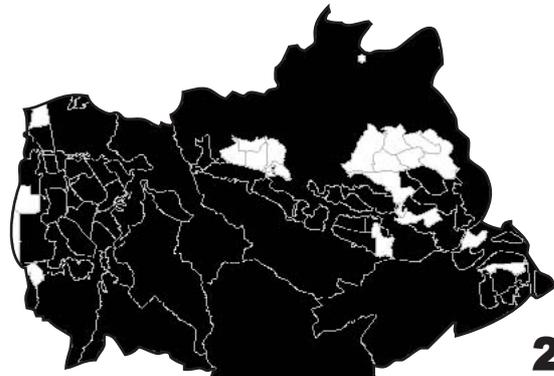
## ①9 キリギリス



1990年



体長38～48mm。体はズングリとした感じではねは短く、うしろ足は長くて大きい。真夏、日のあたる丈の高い草原などにおいて、「チョンギース、チョンギース」と鳴く。近年はあまり見かけなくなった。

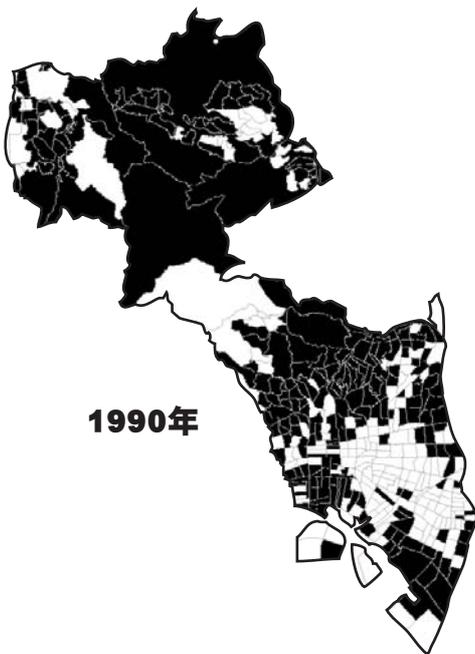


2003年

報告件数：976件



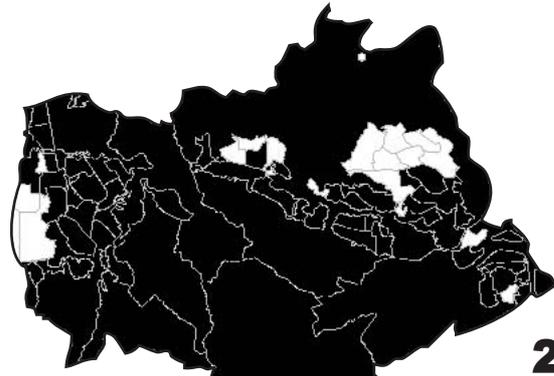
## ②0 ジョロウグモ



1990年

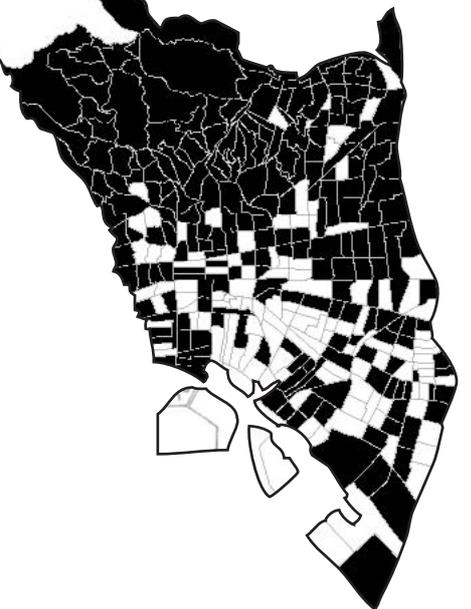


体長はメスが30mm、オスが10mmほど。体の黒と黄色のしま模様があり、腹の後部に赤い大きなもんがある。明るい環境を好み、林のへりや山道の木の枝などに巣をはって、網にかかると小昆虫を食べる。町の中の自然度を見る目印のひとつ。



2003年

報告件数：1229件



# 生きもの発見ランキング

## ★トップ5★

みんなが住んでいるまちでは  
どんな生きものがたくさん  
報告されているんだろう？



今回の調査には、町中の生きもの  
ウォッチング報告が42,141件も寄せ  
られています。

このページでは、その調査報告の  
結果を市内の各コミュニティごとに  
分けて、それぞれのコミュニティで  
報告されたものの中から報告数の多  
いもの上位5種類を紹介します。

### 西宮市地域 コミュニティ一覧

1. 香櫨園
2. 浜脇
3. 用海
4. 津門
5. 春風
6. 今津
7. 夙川
8. 越木岩
9. 苦楽園
10. 安井
11. 大社
12. 神原
13. 甲陽
14. 芦原
15. 平木
16. 広田
17. 上ヶ原
18. 甲東1
19. 甲東2
20. 北口
21. 瓦木
22. 甲子園口
23. 鳴尾1
24. 鳴尾2
25. 鳴尾3
26. 名塩
27. 生瀬
28. 山口

●コミュニティ一覧及び地図は、西宮コミュニティ協会「地域コミュニティ町別エリア一覧」を参考に作成しています。

●各町に該当するコミュニティを調べるには、右上の地図を参考にしてください。

### 《ランキンガー一覧について》

この一覧表で示されているのは、各コミュニティで市民がもっとも多く目にした生きものの種類です。実際の分布数とは異なりますので、ご了承下さい。

#### 1. 香櫨園

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | キジバト    |
| 3     | タンポポ    |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | コウモリ    |

#### 2. 浜脇

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | モンシロチョウ |
| 4     | アオスジアゲハ |
| 5     | キジバト    |

#### 3. 用海

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | ツバメ     |
| 3     | タンポポ    |
| 4     | アオスジアゲハ |
| 5     | コウモリ    |

#### 4. 津門

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | ツバメ     |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | クマゼミ    |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | アオスジアゲハ |

#### 5. 春風

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | コウモリ    |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | アオスジアゲハ |

#### 6. 今津

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | コウモリ    |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | ツバメ     |

#### 7. 夙川

| 町中の自然 |      |
|-------|------|
| 1     | クマゼミ |
| 2     | タンポポ |
| 3     | ツバメ  |
| 4     | キジバト |
| 5     | コウモリ |

#### 8. 越木岩

| 町中の自然 |      |
|-------|------|
| 1     | クマゼミ |
| 2     | タンポポ |
| 3     | ツバメ  |
| 4     | キジバト |
| 5     | トカゲ  |

#### 9. 苦楽園

| 町中の自然 |      |
|-------|------|
| 1     | トカゲ  |
| 2     | クマゼミ |
| 3     | カマキリ |
| 4     | ヘビ   |
| 5     | タンポポ |

#### 10. 安井

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | モンシロチョウ |
| 4     | アオスジアゲハ |
| 5     | ツバメ     |

#### 11. 大社

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | モンシロチョウ |
| 4     | キジバト    |
| 5     | ツバメ     |

#### 12. 神原

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | トカゲ     |
| 4     | コウモリ    |
| 5     | モンシロチョウ |

#### 13. 甲陽

| 町中の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | トカゲ    |
| 2     | クマゼミ   |
| 3     | カマキリ   |
| 4     | ジョロウグモ |
| 5     | タンポポ   |

#### 14. 芦原

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | モンシロチョウ |
| 3     | クマゼミ    |
| 4     | コウモリ    |
| 5     | ヘクソカズラ  |

#### 15. 平木

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | コウモリ    |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | ツバメ     |

#### 16. 広田

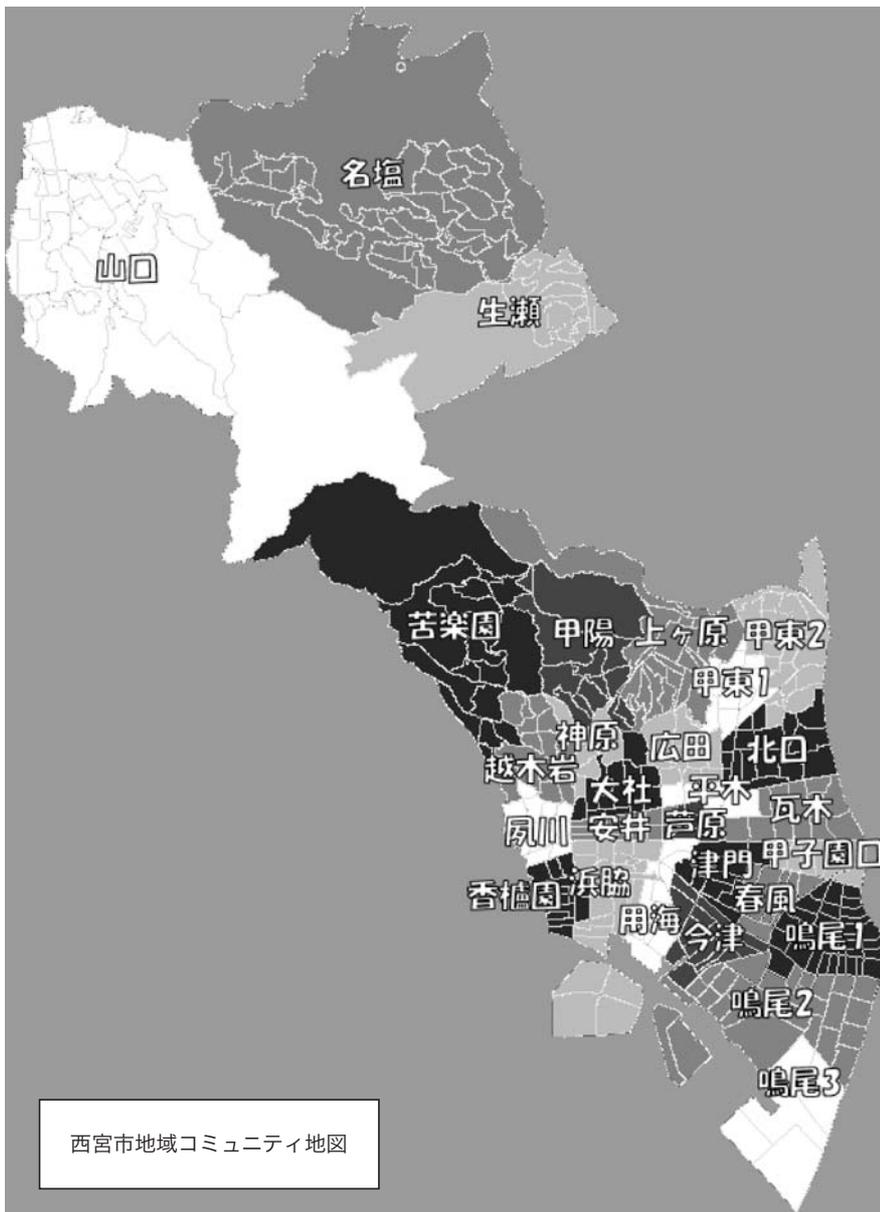
| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | コウモリ    |
| 3     | タンポポ    |
| 4     | ツバメ     |
| 5     | モンシロチョウ |

#### 17. 上ヶ原

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | トカゲ     |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | アオスジアゲハ |

#### 18. 甲東1

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | ツバメ     |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | コウモリ    |



★市内全域トップ5★

| 町中の自然 |         |      |
|-------|---------|------|
| 1     | クマゼミ    | 5081 |
| 2     | タンポポ    | 4967 |
| 3     | モンシロチョウ | 3674 |
| 4     | ツバメ     | 3491 |
| 5     | コウモリ    | 3213 |

市内の町中全域でもっとも多く  
ウオッチングされた生きものです！

水辺の発見ランキングは  
28・29ページにあるよ！



25. 鳴尾3

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | モンシロチョウ |
| 3     | クマゼミ    |
| 4     | ツバメ     |
| 5     | カマキリ    |

26. 名塩

| 町中の自然 |      |
|-------|------|
| 1     | タンポポ |
| 2     | トカゲ  |
| 3     | ツバメ  |
| 4     | カマキリ |
| 5     | クマゼミ |

19. 甲東2

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | モンシロチョウ |
| 4     | コウモリ    |
| 5     | ツバメ     |

21. 瓦木

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | クマゼミ    |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | モンシロチョウ |
| 4     | コウモリ    |
| 5     | アオスジアゲハ |

23. 鳴尾1

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | アオスジアゲハ |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | コウモリ    |

27. 生瀬

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | ツバメ     |
| 2     | タンポポ    |
| 3     | トカゲ     |
| 4     | クマゼミ    |
| 5     | モンシロチョウ |

20. 北口

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | ツバメ     |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | コウモリ    |

22. 甲子園口

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | ツバメ     |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | アオスジアゲハ |

24. 鳴尾2

| 町中の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | タンポポ    |
| 2     | クマゼミ    |
| 3     | ツバメ     |
| 4     | モンシロチョウ |
| 5     | コウモリ    |

28. 山口

| 町中の自然 |      |
|-------|------|
| 1     | タンポポ |
| 2     | ツバメ  |
| 3     | トカゲ  |
| 4     | カマキリ |
| 5     | クマゼミ |

## 2. 水辺の自然 〈調査結果マップ〉

※前回(1989年)の水辺の自然調査では、以下のポイントでの調査はありませんでした。

- 香榎園浜・御前浜
- 甲子園浜
- 北山貯水池
- 金仙寺湖
- その他の池

- それぞれの生きものが報告された水辺ポイントを色塗りて表示しています。
- 今回の調査結果と過去の調査結果(1989年実施)を比較できるように並べて掲載しています。
- 今回の調査ポイント「その他の池」の報告については、マップ表示ができませんので報告件数を記載します。

### ①アユ



1989年



じゅみょう  
体長20~25cm。寿命は1年。海と川を回遊する。春に幼魚は川をのぼって、中流域で育つ。岩場の藻をつついて食べる。大きな口、えらの後ろに黄色のはん点がある。

### 2003年

報告件数：305件  
その他の池：9件



### ②オイカワ



1989年



あせ  
体長15cm。中流域の、流れのはやい浅瀬に多くあつまる。雑食で、藻や虫を食べる。オスの体は、5~8月に青緑色やピンク色の婚姻色が出る。動きはすばやい。

### 2003年

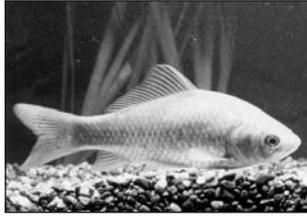
報告件数：709件  
その他の池：33件



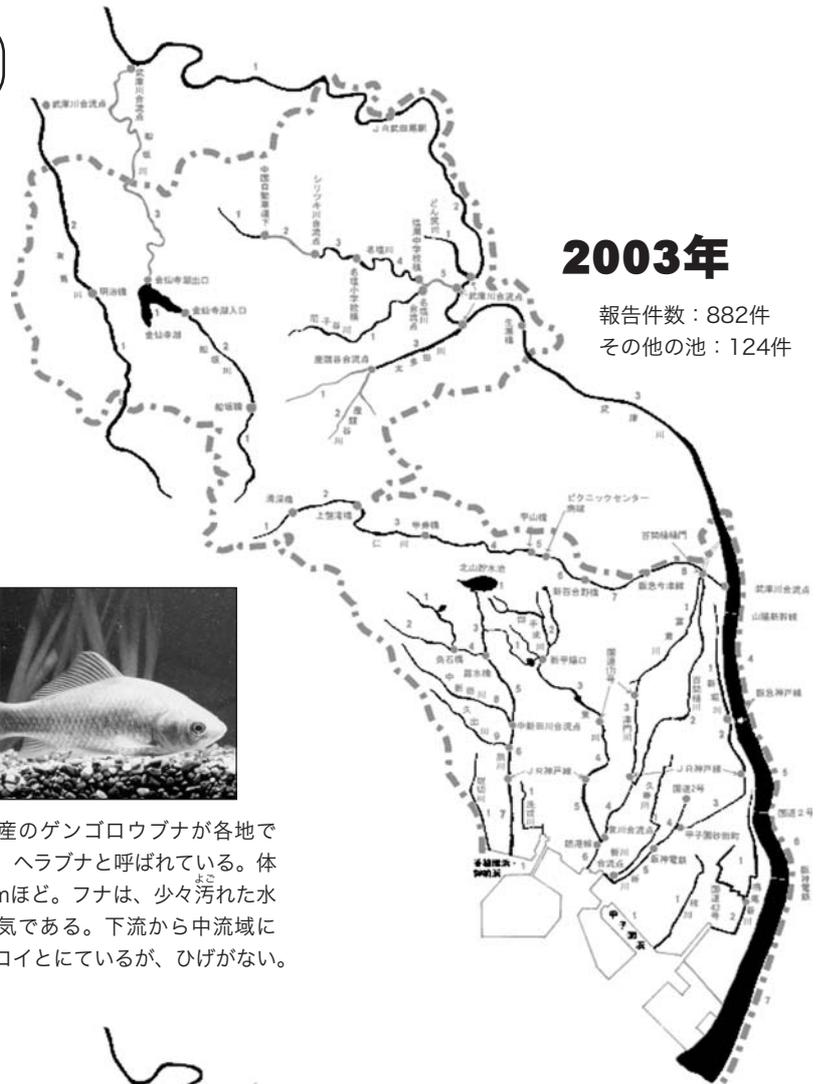


今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ!

### ③フナ



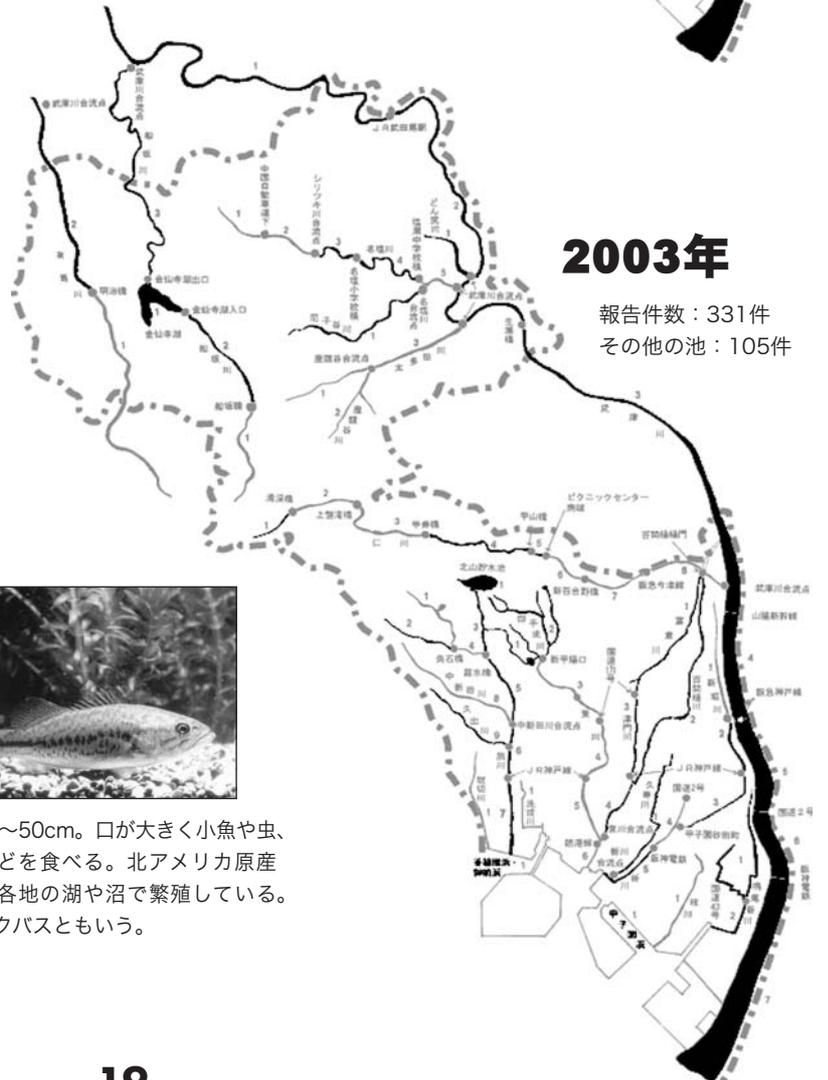
びわこ琵琶湖産のゲンゴロウブナが各地で繁殖し、ヘラブナと呼ばれている。体長30cmほど。フナは、少々汚れた水でも平気である。下流から中流域にいる。コイとにているが、ひげがない。



### ④オオクチバス



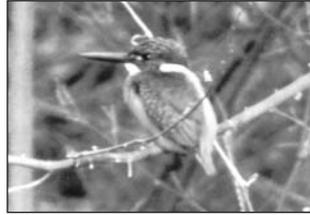
体長30~50cm。口が大きく小魚や虫、エビなどを食べる。北アメリカ原産だが、各地の湖や沼で繁殖している。ブラックバスともいう。



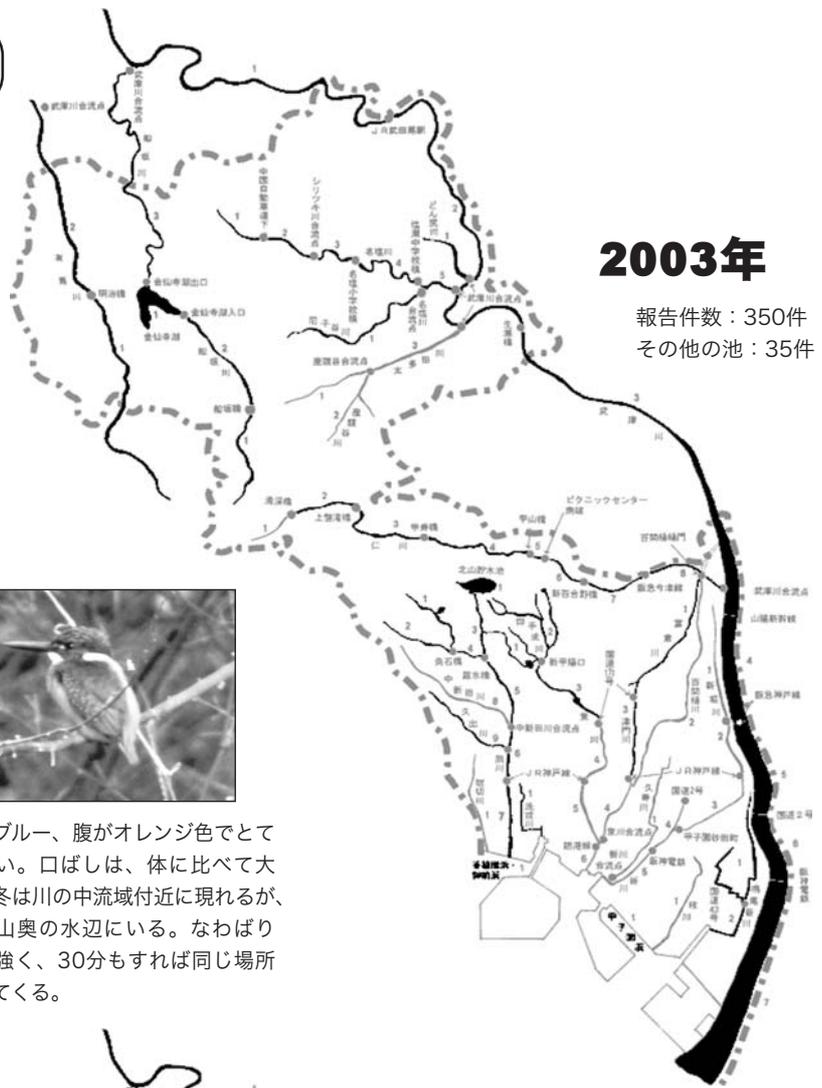


今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！

## ⑤カワセミ



背中がブルー、腹がオレンジ色でとても美しい。口ばしは、体に比べて大きい。冬は川の中流域付近に現れるが、夏場は山奥の水辺にいる。なわばり意識が強く、30分もすれば同じ場所に戻ってくる。



## ⑥コサギ



最も小型の白サギだが、カラスぐらいの大きさである。足の指が黄色いのが特徴。春になると頭に2本の飾り羽が伸び、腰の羽はカールする。留鳥。鳴き声は「グワー」。



## ⑦セグロセキレイ・ハクセキレイ

2003年

報告件数：591件  
その他の池：40件



1989年



あし  
セグロセキレイは、頭・背・脚が黒く、川の中流部にいる。ハクセキレイは、顔・腹が白く、目を通る黒い線がある。下流部や海岸に多い。どちらも尾羽をよく振る。スズメより少し大きい。(写真右上はセグロセキレイ、左下はハクセキレイ)



2003年

報告件数：335件  
その他の池：71件



1989年



川や池にいる。首すじが赤茶色で、全体は黒褐色。目は黄色。魚やエビを捕らえようと、さかんに水に潜る。水面に水草を積み重ねて浮巣を作る。ハトよりやや小さい。留鳥。



今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！

## ⑨ハマシギ

### 2003年

報告件数：204件  
その他の池：5件



前回(1989年)は  
調査がありませんでした。



浜辺にいる。からだは茶色に白黒の  
まだら模様だが、夏羽では腹部が黒  
くなる。ハトよりやや小さい。数10  
羽の群れで飛ぶことが多く、いっせ  
いに向きを変える。鳴き声は「ピリー」。

## ⑩ウシガエル

### 2003年

報告件数：655件  
その他の池：352件



1989年



体長10~18cm。鳴き声が牛の声に  
似ている。オタマジャクシも大きく、  
一冬を越して2年目にカエル(成体)に  
なる。こまぐが大きい。食用ガエル  
としてアメリカから移入された。

## ⑪ サワガニ

※淡水にすむはずのサワガニについて、海浜での報告が寄せられましたので、今回の調査報告では、海浜での報告を割愛しています。

### 2003年

報告件数：733件  
その他の池：76件



1989年



こちら  
甲羅の幅(甲幅)は25mm。きれいな水の  
めい  
小川にすむ。日本で唯一、一生を  
淡水ですごすカニ。水中の石や落ち  
葉の下にかくれている。一般的に、  
右のつめが大きい。



## ⑫ アメリカザリガニ

### 2003年

報告件数：511件  
その他の池：217件



1989年



体長10cm。ウシガエルのエサとして  
移入された。多少汚れた水でも生き  
ていける。歩行用の脚が4対と、腹部  
にはおよぐための平たい脚がある。





今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！

### ⑬ ヤドカリ

※海浜にすむヤドカリについて、河川(淡水)での報告が寄せられました。今回の調査報告では、河川(淡水)での報告を割愛しています。



前回(1989年)は  
調査がありませんでした。



とうきょうぶ  
頭胸部はカニ、腹部はエビに似ている。柔らかい腹部を守るため、腹を巻貝の抜け殻にさしこんでいる。体が大きくなると、ちょうどよい大きさの貝殻を見つけて引越す。浜辺にいる。



2003年

報告件数：468件  
その他の池：-

### ⑭ オニヤンマ



1989年

※前回(1989年)の調査では、ギンヤンマ以外のヤンマ類として調査しました。



さいだい  
体長10cmほどで、日本最大のトンボ。谷あいをゆうゆうと飛ぶ。往復飛行する性質があり、同じ場所に舞い戻ってくる。止まるときは、木の枝にぶらさがる。6~9月。



2003年

報告件数：1127件  
その他の池：227件

## ⑮ ハグロトンボ

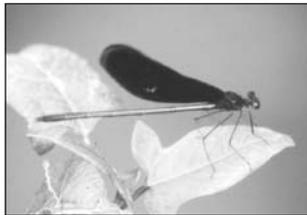
**2003年**

報告件数：1012件  
その他の池：139件

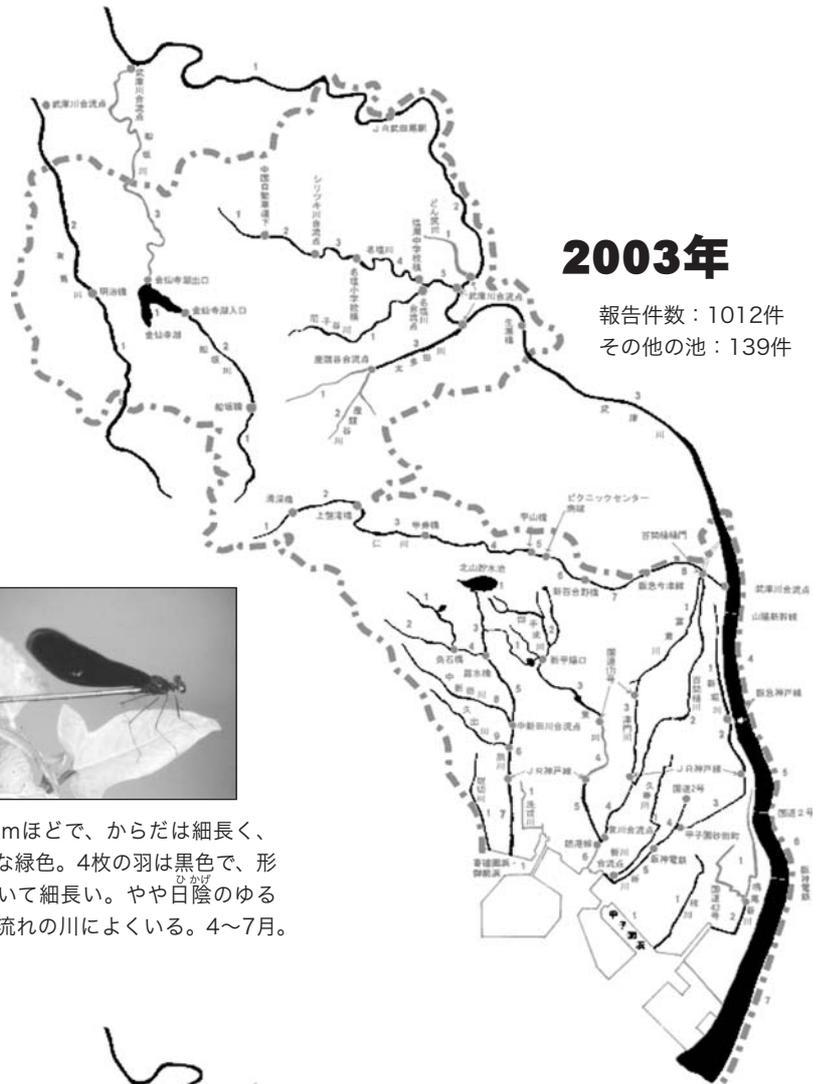


**1989年**

※前回(1989年)の調査では、ハグロトンボ類として調査しました。



体長6cmほどで、からだは細長く、きんぎょく色の金属的な緑色。4枚の羽は黒色で、形が似ていて細長い。やや日陰のゆるやかな流れの川によくいる。4~7月。



## ⑯ アカトンボ類

**2003年**

報告件数：1967件  
その他の池：367件



**1989年**



アカトンボとは、アキアカネ、ナツアカネ、マユタテアカネ、ミヤマアカネなどの総称。夏から秋にかけて成熟すると、オスのからだの色が赤くなる。





今回の調査結果についてのコメントが  
30・31ページにのっているよ！

## ⑪ ホタル



1989年



ゲンジボタルは体長が10~20mmの大型で、  
光り方が強い。頭のうしろに黒い十字模様。  
水のきれいな川にすみ、カワナを食べる。  
ヘイケボタルは体長7~10mm。頭のうしろ  
に黒く太い縦すじの模様。水田や池に  
いて、タニシを食べる。ともに6月~7月  
頃に見られる。



2003年

報告件数：558件  
その他の池：21件

## ⑫ オランダガラシ (クレソン)



1989年



アブラナ科で別名はクレソン。夏に白  
い花が咲く。ヨーロッパ原産であるが、  
水のきれいな川で野生化している。  
茎や葉に香り<sup>かお</sup>と苦味<sup>にがみ</sup>があり、食用に  
される。



2003年

報告件数：188件  
その他の池：28件

## ⑱ガマ類

2003年

報告件数：577件  
その他の池：367件



1989年



ガマ科。池や沼に生え、高さが2mを越えるものもある。夏に茎の先に、茶褐色の花の穂をつける。冬になると葉や茎は枯れるが、水底のどろの中に張った地下茎は枯れない。



2003年

報告件数：709件  
その他の池：129件



1989年



トチカガミ科。オオカナダモは4枚の葉が輪生し、コカナダモは花3枚の葉が輪生する水草。茎の長さはともに1mほど。オオカナダモはアルゼンチン、コカナダモは北アメリカ原産。藻ではなく、白い花が咲く種子植物。

みんなが住んでいるまちの近くの  
水辺ではどんな生きものがたくさん  
報告されているんだろう？



今回の調査には、水辺の生きもの  
ウォッチング報告が14,267件も寄せ  
られています。

このページでは、その調査報告の  
結果を市内の調査対象になっている  
河川・海浜・池ごとに分けて、それ  
ぞれの水辺で報告されたものの中  
から報告数の多いもの上位5種類を紹  
介します。

調査対象の  
河川・海浜・池一覧

1. 堀切川
2. 夙川水系
3. 洗戎川
4. 東川水系
5. 津門川水系
6. 新川水系
7. 久寿川水系
8. 枝川
9. 鳴尾新川
10. 仁川
11. 名塩川
12. 尼子谷川
13. どん尻川
14. 太多田川
15. 船坂川
16. 有馬川
17. 武庫川
18. 香櫛園浜・御前浜
19. 甲子園浜
20. 北山貯水池
21. 金仙寺湖
22. その他の池

## 1. 堀切川

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | アカトンボ類         |
| 2     | ウシガエル          |
| 3     | フナ             |
| 4     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |
| 5     | サワガニ           |

## 2. 夙川水系

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | コサギ    |
| 2     | アカトンボ類 |
| 3     | オイカワ   |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | カナダモ類  |

## 3. 洗戎川

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | コサギ            |
| 2     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |
| 3     | アカトンボ類         |
| 4     | フナ             |
| 5     | カワセミ           |

## 4. 東川水系

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | アカトンボ類         |
| 2     | コサギ            |
| 3     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |
| 4     | オニヤンマ          |
| 5     | フナ             |

## 5. 津門川水系

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | コサギ    |
| 2     | アカトンボ類 |
| 3     | フナ     |
| 4     | アユ     |
| 5     | オイカワ   |

## 6. 新川水系

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | アカトンボ類 |
| 2     | コサギ    |
| 3     | フナ     |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | カナダモ類  |

## 7. 久寿川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | アカトンボ類 |
| 2     | フナ     |
| 3     | コサギ    |
| 4     | カナダモ類  |
| 5     | オニヤンマ  |

## 8. 枝川

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | アカトンボ類         |
| 2     | コサギ            |
| 3     | オニヤンマ          |
| 4     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |
| 5     | ハグロトンボ         |

## 9. 鳴尾新川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | コサギ    |
| 2     | アカトンボ類 |
| 3     | フナ     |
| 4     | サワガニ   |
| 5     | ウシガエル  |

## 10. 仁川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | ハグロトンボ |
| 2     | アカトンボ類 |
| 3     | オニヤンマ  |
| 4     | サワガニ   |
| 5     | ホタル    |

## 11. 名塩川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | サワガニ   |
| 2     | ハグロトンボ |
| 3     | オニヤンマ  |
| 4     | アカトンボ類 |
| 5     | ホタル    |

## 12. 尼子谷川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | オオクチバス |
| 2     | カワセミ   |
| 3     | サワガニ   |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | フナ     |

## 13. どん尻川

| 水辺の自然 |       |
|-------|-------|
| 1     | カイツブリ |
| 2     | ハマシギ  |
| 3     | サワガニ  |
| 4     | オイカワ  |
| 5     | フナ    |

## 14. 太多田川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | サワガニ   |
| 2     | コサギ    |
| 3     | オニヤンマ  |
| 4     | ハグロトンボ |
| 5     | アカトンボ類 |

## 15. 船坂川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | ホタル    |
| 2     | サワガニ   |
| 3     | オニヤンマ  |
| 4     | コサギ    |
| 5     | ハグロトンボ |

## 16. 有馬川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | ホタル    |
| 2     | ハグロトンボ |
| 3     | コサギ    |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | アカトンボ類 |

## 17. 武庫川

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | コサギ    |
| 2     | アカトンボ類 |
| 3     | フナ     |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | ハグロトンボ |

## 18. 香櫛園浜・御前浜

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | ヤドカリ           |
| 2     | コサギ            |
| 3     | ハマシギ           |
| 4     | アカトンボ類         |
| 5     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |

## 《ランキング一覧について》

この一覧表で示されているのは、市内の調査対象の河川・海浜・池で市民がもっとも多く目にした生きものの種類です。実際の分布数とは異なりますので、ご了承下さい。



町中の発見ランキングは  
16・17ページにあるよ！



調査対象の河川・海浜・池

19. 甲子園浜

| 水辺の自然 |                |
|-------|----------------|
| 1     | ヤドカリ           |
| 2     | ハマシギ           |
| 3     | コサギ            |
| 4     | アカトンボ類         |
| 5     | セグロセキレイ・ハクセキレイ |

21. 金仙寺湖

| 水辺の自然 |         |
|-------|---------|
| 1     | オオクチバス  |
| 2     | ウシガエル   |
| 3     | カイツブリ   |
| 4     | オランダガラシ |
| 5     | ガマ類     |

20. 北山貯水池

| 水辺の自然 |        |
|-------|--------|
| 1     | アカトンボ類 |
| 2     | ウシガエル  |
| 3     | カイツブリ  |
| 4     | オニヤンマ  |
| 5     | オオクチバス |

22. その他の池

| 水辺の自然 |          |
|-------|----------|
| 1     | アカトンボ類   |
| 2     | ガマ類      |
| 3     | ウシガエル    |
| 4     | オニヤンマ    |
| 5     | アメリカザリガニ |

**★市内全域トップ5★**

| 水辺の自然 |        |      |
|-------|--------|------|
| 1     | コサギ    | 2055 |
| 2     | アカトンボ類 | 1967 |
| 3     | オニヤンマ  | 1127 |
| 4     | ハグロトンボ | 1012 |
| 5     | フナ     | 882  |

市内の水辺全域でもっとも多く  
ウオッチングされた生きものです！

# IV. 調査結果へのコメント

## 1. 植物編

### ■ 町中の自然調査結果について

今回の調査対象となったタンポポ、ヘクソカズラ、ヒガンバナについて多くの市民の方々からの報告をみて、市内全域（六甲山地を除く）でよくウオッチングできたと思われました。

#### ○タンポポ

タンポポについては、日本産のカンサイタンポポとヨーロッパ原産の帰化植物セイヨウタンポポとアカミタンポポがみられますが、それらを総合してタンポポとしてウオッチングしてもらったので、ほぼ市内全域でみられたものと思います。

西宮市内で珍しいのは、シロバナタンポポです。甲東公民館周辺の上ヶ原台地や満池谷墓地内などごく限られた地域で白花のタンポポが自生で見られます。一般にカンサイタンポポは田園地帯に、市街地路傍にはセイヨウタンポポとすみわけています。時には思わぬ町中でカンサイタンポポを見つけますし、セイヨウタンポポはどんどん勢力をひろげつつあります。

#### ○ヘクソカズラ

ヘクソカズラは、ヤイトバナ、サオトメカズラなどとも呼ばれ、つる性で、町中でも生垣や低木の植え込み、編み目のフェンスなどにまといついで、夏の頃、花の中心が赤色で白い筒状の花が群がって咲き、秋は小粒の実をたくさんつけるのでよく目につきます。これもほぼ全市で見られますが、このヘクソカズラのほとんどは、野鳥が別の所で食べて脱糞と共にこの地に種子を落とし、それが発芽したものと考えられます。野鳥（小鳥）と植物の共生を考える学習材料のひとつです。

#### ○ヒガンバナ

ヒガンバナも想像以上に全所的にウオッチングされていたのには驚きました。もともとヒガンバナ（一名マンジュシャゲ）は、六甲山地でもなく、市街地でもなく、人里の田園地帯の田畑のあぜ道に群生がみられ、秋の彼岸（9月20日頃）になると一斉に真っ赤な花が咲きそろったものです。最近では、各地で田畑の圃場整備がされて土手（あぜ）が改変され、ヒガンバナが姿を消したところが多くなってきました。

ヒガンバナは有毒植物のひとつで、テクサレバナ、ハカバナ、シビトバナなど、あまりよい名で呼ばれていませんでしたし、一般にあまり好かれていませんでしたが、最近のガーデニングブームで、秋に真っ赤な大きな花が咲きそう様子が欧米はもちろん日本でも好まれるようになり、赤花だけでなくシロバナマンジュシャゲや黄色、ピンク色など色々の品種の球根が園芸店に出品されています。きっと町中でのヒガンバナの報告は、いわゆる自然生（自生）ではなく家庭園芸で栽培されていたものかもしれません。

#### 《調査対象以外の植物について》

報告にあったナンテン、ヤマウルシなども野鳥によって種子が運ばれて発芽成長したものと思われる。

オナモミは、人の衣服や動物の毛について運ばれる植物ですが、最近では、全体にオナモミよりも大型で、果実も大きい北アメリカ原産のオオオナモミが多く見られます。

オジギソウは、葉にふれるとおじぎするように葉をしぼませるブラジル原産のママ科の多年草で、熱帯から亜熱帯に野生化し、日本では沖縄の道ばたなどでみられますが、西宮では自生はまずありません。園芸店で購入したオジギソウの栽培品をウオッチングされたか、水辺や水田、休耕田近くでは直立して自生するクサネム（ママ科）をオジギソウと思われたのでしょうか。

ユリの報告がありますが、西宮市内で野生するユリの仲間は、オニユリ、コオニユリ、ササユリ、チゴユリ、ウバユリなどのほか、最近では台湾がふるさとの帰化植物タカサゴユリが、高速道の土手や草原、道ばた、人家の庭などに自生して大繁殖しています。夏～秋には、テッポウユリのような筒長の白い花を咲かせるのでよく目につきます。

エンドウは、野生品は甲子園浜のハマエンドウのみで、町中では栽培品の逸出でしょう。

### ■ 水辺の自然調査結果について

水辺では、オランダガラシ（クレソン）、ガマ類、カナダモ類のウオッチングでした。

#### ○オランダガラシ

オランダガラシは、ウオータークレス、クレソンの名で西洋料理などで生食されることでおなじみのアブラナ科の多年草。いわゆる清流のほとりに群生する植物で、汚濁した水質の川では生育しません。夙川、仁川、船坂川、その他の川、ほぼ清流と思われる地点での自生がウオッチングされています。

#### ○ガマ類

ガマ類のそのほとんどはヒメガマですが、ガマ、コガマもあります。夙川公民館の片鉾池、甲陽園の大池、甲山なかよし池をはじめ、市内の大小の池に群生が見られますし、有馬川、仁川、武庫川などの川原にも大小の群生がみられ、さらに各地の川べりにも分布がひろがりつつあります。

#### ○カナダモ類

カナダモ類には、オオカナダモ、コカナダモは共に帰化植物で、水質汚濁にもかなり強く繁殖力旺盛で、富栄養の水質の小川や池ではほとんど繁殖します。

それにひきかえ、日本原産のクロモは小型で、かんがい用の田畑の水路などに自生がみられますが、最近では激減の傾向にあり、コカナダモが優勢になりつつあります。

#### 《調査対象以外の植物について》

報告にあるラミーは、和名（日本名）ではカラムシ、日本には繊維資源として古く渡来した植物のひとつです。このカラムシを食草とする甲虫にラミーカミキリがあります。川の土手などに群生します。

ジュズダマ、ツククサなどは水湿地を好む植物で、各地でウオッチングできます。ハマゴウ、オカヒジキは海浜植物です。オカヒジキは甲子園浜、香櫛園浜の渚（波打ちぎわ）に近い砂浜に自生がみられます。

ハマゴウは、かつて香櫛園浜に群生していましたが、一時消失し、最近また自生が確認されるようになり、年々成長して、昨年秋には紫色の花を咲かせて話題となりました。

（※調査対象以外の報告については、本冊子33頁をご参照下さい。）

## 2. 動物編

市内をおおよそ次の3地域で大別して検討しました。

○北部：県道16号線（甲山高校の北側を走る道路）より北側。山口・名塩・生瀬などの地域

○中部：北部よりは南にあって、阪急神戸線よりも北側の地域。段上・高木・甲東園・上ヶ原・夙川・甲陽園・苦楽園などの地域

○南部：阪急神戸線よりも南側の地域で、臨海部に造成された埋立地を含みます。瓦木・小松・高須・鳴尾・甲子園・浜脇・香櫛園などの地域

### ■ 町中の自然調査結果について

【ほ乳類】（対象生物：コウモリ・キツネ）

コウモリは、前回調査では分布報告がなかった北部の西部（山口）や南部臨海部の3つの埋立地にも生息回答がありました。特定の種に限定していないこともあって、ほぼ市内全域に分布域が広がっています。

キツネは山野に穴を掘ってねぐらにします。ところがそうした環境がほとんどない南部からも出会い（発見）の報告がありました。南部にも大きな社寺があり、その境内の社寺林や武庫川など大きめの川の堤防などを根城にする可能性は否定できません。周辺に田畑も残っていて、家庭の残飯の他にネズミなどを捕らえることも出来そうです。阪急神戸線とJR神戸線間の武庫川に近い地域でみつきり、マスコミを賑わしたことが数年前にありました。前回もそのあたりでの事例が報告されており、その家族が生息し続けている可能性が感じられます。しかし、阪神本線より南での事例は地域的な連続性も乏しく、鎖をはずされたやや大型の犬を見間違えたと思われる。

【は虫類】（対象生物：トカゲ・ヘビ）

トカゲは、よく似たカナヘビもトカゲとみなしてよかったので、回答をそのまま信頼してよいでしょう。前回少なかった南部での発見事例が増えたのが注目できます。ヘビも種の限定はなかったので見間違える可能性は低いです。阪急神戸線から阪神本線にかけての範囲には前回もいなかったところが多かったのですが、「前はいたが今回はいない」ところも増えています。

ヘビのいない地域が広がったといえます。このあたりは、西宮では人口密度が高く、中心市街地であり、露出した地面は少ないです。こうした生物にとって一層生活しにくい環境になっていることがうかがえます。

【鳥類】（対象生物：ツバメ・キジバト・ヒヨドリ・コゲラ）

ツバメ、ヒヨドリはポピュラーで、そのまま信頼してよいでしょう。なじみがないと感じられる鳥はコゲラです。樹勢が弱った幹に穴を掘って巣にしますが、南部は樹木がそれほど多くありません。公園や街路樹が思い浮かびますが、枯木がそのまま放置されていることはほとんどありません。コゲラの報告例が南部に少ないこととよく合致しています。キジバトがほぼ全域に分布している結果が出ています。これには駅前や社寺の広場に多いドバトを誤って回答した可能性があります。キジバトは林で暮らす鳥でしたが、急速に市街地に進出してきています。公園や庭への植樹と関連があり、ハト＝平和の考えから敵対する人も少なく、人里が安全で暮らしよいと感じているのでしょう。しかし現実にはこれほどではなく、もう少し狭い状態でしょう。

【昆虫類】（対象生物：モンシロチョウ・アオスジアゲハ・ベニシジミ・ゴマダラカミキリ・カマキリ・クマゼミ・カブトムシ・キリギリス・ジョロウグモ）

カブトムシを除いて、どれもほぼ全域に見つかっています。ゴマダラカミキリは一見珍しい昆虫に思えますが、バラ・ヤナギ・イチジクやポプラによくついています。あちこちにこれらの木が植えられたり、野生状態で育っていて、広く分布することと符合します。昆虫は埋立地にもすっきり進出しています。人の生活を巧みに利用して生きているように感じられます。カブトムシについては疑問があります。南部のしかも鳴尾、浜甲子園や埋立地などの地域に生息しているとは考えにくいです。野外で見つけていたとすれば、バットが逃げ出したのが偶然に見つかったのでしょうか。また、調査対象以外の発見としてタガメがいたという報告も寄せられていますが、これは嬉しい発見です。

### ■ 水辺の自然調査結果について

【魚類】（対象生物：アユ・オイカワ・フナ・オオクチバス）

この4種とも前回の結果と大きな変化はありませんが、アユの発見地点が広がっているのが注目できます。上流域では人工的な放流が考えられますが、夙川や武庫川での下流域から中流域への広がりは、大阪湾からの自然な遡上と考えられます。仁川や東川などの分布は武庫川から流れ込んできたと思われるが、汚れの少ない川にすむ魚だけに、下流部の汚れが改善の方向に向かっていることが感じられます。ただ、目視だけでオイカワなどと区別することは素人には難しく、見まちがいもかなりあると思われます。

【鳥類】（対象生物：カワセミ・コサギ・セグロセキレイ／ハクセキレイ・カイツブリ・ハマシギ）

カワセミなど5種が対象で、ハマシギは今回が初めてです。山間の渓谷に普通のカワセミが、明らかに人里に生息域を広げています。夙川や武庫川では河口近くまで下りてきています。前は南部では夙川の中流まで、武庫川もJR辺りまででした。一時、人里近くからすっかり消えましたが、ここ10数年ほどの間に徐々に回復してきているのは全国的な傾向でもありますが、自然の保護や保全、環境への関心の高まりが、この結果をもたらしたと思われる。ハマシギは「羽斑鳩（はまだらしぎ）」を語源とする説があるが、「浜鳩」とも書かれます。実際にも浜辺（干潟）に多く飛来し、内陸部の小石や砂地の川原にもやってきます。干潟が埋め立てられたり、川原の整備が進んで3面がコンクリート張りになったり、芝生を含めて植物が育ち始めると、そこにはこなくなります。人間本位の環境整備に警鐘をならしてくれる存在の一員とも言えます。ただ、内陸部のしかもあまり広くない川原などにはほとんどこないので、東川や夙川の支流を含めての上流部、仁川上流部、どん尻川などでの報告には疑問が残ります。

【両生類】（対象生物：ウシガエル）

対象のウシガエルの分布には大きな変化はなかったようです。

【甲殻類】（対象生物：サワガニ・アメリカザリガニ・ヤドカリ）

対象3種のうちヤドカリの分布に大きな疑問が感じられました。海岸部に生息する種であることは、調査用紙にも記されていました。したがって甲子園浜から香櫛園浜（御前浜）にかけての臨海部にのみ生息が期待できます。ところが北部にも中部にも事例報告があり、しかも少数回答ではありません。オカヤドカリという内陸部を感じさせるヤドカリはいますが、その分布域は小笠原や奄美諸島など亜熱帯地方。内陸といっても波しぶきがかかるであろうとされる範囲に生息しています。西宮の北部は臨海部からは10km近く離れています。カワニナやタニシ類などの巻貝を、本種と見間違えたのでしょうか。残念ではありますが今回の結果は削除することが望ましいと思われる。サワガニも南部の川で見間違えがあると感じられます。日本では山間の清流にすむ唯一の淡水性のカニです。水に汚れがあり、海水が入り込む河口近くに本種がいるとは思えません。イソガニ、ケフサイソガニなど汽水域にすむカニを見間違えた可能性があります。

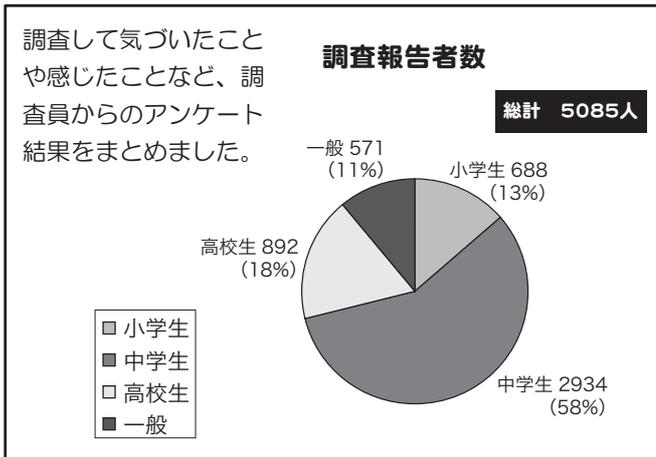
【昆虫類】（対象生物：オニヤンマ・ハグロトンボ・アカトンボ類・ホタル）

どれも前回との差はあまりありませんでしたが、ホタルは少数でもおれば人目につくようで、夙川や武庫川での下流域からの報告が目につきます。水質改善の兆しと受け止めることができます。

※今回の調査結果の内容について、西宮自然保護協会の近藤浩文氏（植物編）・三宅隆三氏（動物編）よりコメントをいただきました。

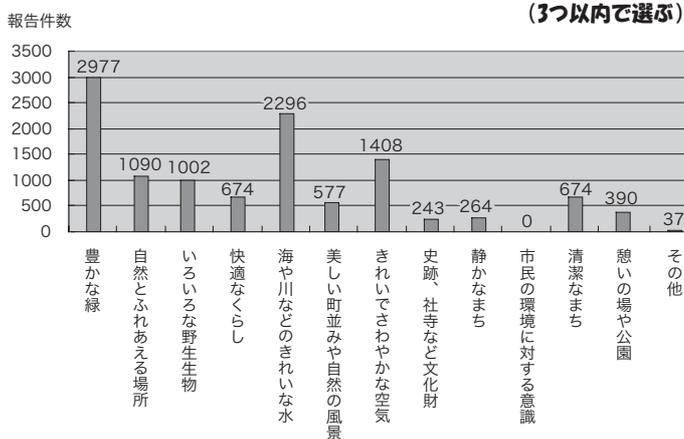
# V. 参加者の声

## 1. アンケート結果



## ■ 西宮の環境について

### ①20年後の西宮に残したい環境はどれですか？

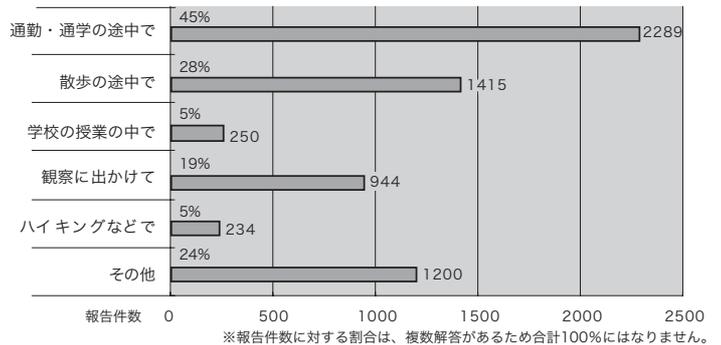


### ②西宮の環境を残すために私たちがすべきことは？

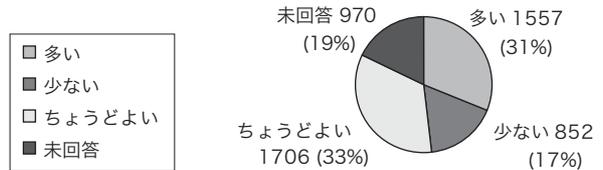


## ■ 自然調査について

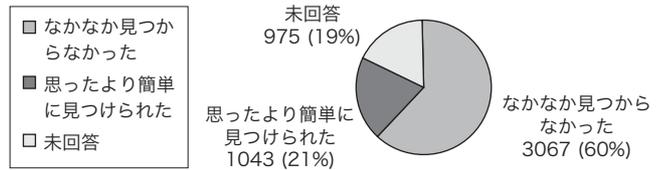
### ①どのような時に調査をしましたか？ (複数回答可)



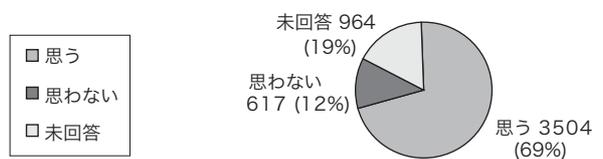
### ②調査項目はどれでしたか？



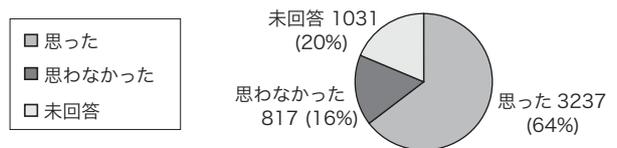
### ③調査対象の生きものは見つかりましたか？



### ④今後もこのような調査をすべきだと思いますか？



### ⑤調査した場所に自然は残っていると思いましたか？



### ③ちょっと気になる環境問題

| 分類      | 件数  | 説明                      |
|---------|-----|-------------------------|
| 1 大気    | 120 | 大気汚染、地球温暖化、など           |
| 2 水     | 213 | 水質全般の汚染、河川の汚染水資源の枯渇、など  |
| 3 海     | 71  | 海洋汚染、海洋生物の保護、など         |
| 4 土地と食物 | 0   | 土地の荒廃、食料不足、など           |
| 5 森林    | 49  | 森林破壊、樹木減少、など            |
| 6 生物多様性 | 60  | 生物種の減少、生態系の乱れ、外来種の進入、など |
| 7 都市化   | 326 | 騒音、交通量増加、ゴミ問題、都市問題、など   |
| 8 極地    | 0   | 海外の問題、など                |
| 9 その他   | 79  | その他問題、意見・感想、今後の課題、など    |
| 合計      | 918 |                         |

※上記分類は、国連環境計画 (UNEP) 発行「パチャママ」(2000年) の環境キーワードに基づいたものです。

## 2. 調査対象以外の報告 (報告の一部を紹介しています。)

|       | 生物名   | 生物名 (発見場所)  |
|-------|---|---|
| 昆虫など  | クロアゲハ、ルリタテハ、ムラサキシジミ、オオムラサキ、オオミスアオ、アケビコノハ、ミスカマキリ、スズムシ、オオカマキリ、ハラヒロカマキリ、ニニイゼミ、ヒグラシ、イナゴ、ツコムシ、アシナガバチ、オオスズメバチ、シオカラトンボ、チョウトンボ、ウチウヤンマ、ギンヤンマ、マコトテアカネ、ヒメマイマイカブリ、タマムシ、ハンミョウ、ヒラタクワガタ、ミヤマクワガタ、ゲンゴロウ、ゾウムシ、フンコロガシ、オサムシ、ササキリ、ムカデ、クサカゲロウ、ハサミムシなど | カラスアゲハ(笠屋町)、ヘビヒラタムシ(弓場町)、ナナフシ(甲山森林公園)、タガメ(仁川ビクニックセンター)、ミヤマアカネ(仁川)、ウスバキトンボ(山口町名来の田んぼ)、ツマグロヒョウモン(池田町、菊谷町)など |
| 哺乳類   | イノシシ(ウリボウ)、ネズミ、タヌキ、モグラ、ヌートリアなど  | イタチ(西平町)、サル(山口町下山口)、ニホンイタチ(広田町)、ホンドリリス(船坂谷)など   |
| 鳥類    | メジロ、シジュウカラ、ツグミ、ウグイス、ムクドリ、モズ、ジョウビタキ、ヤマガラ、キツツキ、カルガモ、ヒドリガモ、ユリカモメ、シラサギ、ゴイサギ、コアジサシ、カウウ、ウミウ、オオバンなど  | マガモ(津門川)、キジ(山口町上山口)、トンビ・キジ・フクロウ(鷲林寺付近の山)など  |
| 植物    | オジギソウ、ナンテン、シロバナタンポポ、エノコログサ(俗称:ネコジャラシ)、ヤマウルシ、オナモミ、クヌギ、ドクダミ、ハマコウ、オカヒジキ、ジュズダマ、ユリ、エンドウ、ラミーなど  | ヒナンカスラ(仁川町)など   |
| 両生類など | ハコガメ、イシガメ、スッポン、カフトエビ、ヤモリ、アマガエル、トノサマガエル、カタツムリ、カスミンサショウウオ、タニシ、カワニナ、ヒトデ、ミスクラゲ、カラカサクラゲ、イソギンチャク、チチュウカイミドリガニ、オオシロビノなど   | スジエビ、ヌマエビ、クサガメ(仁川・武庫川合流点付近)、ヒトデ(甲子園浜)など   |
| 魚類    | タイワンドジョウ、ブルーギル、ドンコ、ヨシノボリ、ギンブナ、カマツカ、ボラ、ハゼなど  | メダカ(武庫川)、ナマス(門前町)、トビエイ(甲子園浜)など  |

## 3. 調査に参加して気づいたこと (寄せられたコメントの一部を紹介しています。)

### 【こどもからの声】

- ・ 夙川のところにはいっぱいトンボがとびまわっていた。(御茶家所町、6歳、男)
- ・ いっぱい虫を見つけてうれしかった。(末広町、6歳、男)
- ・ ヘビを見つけて、もようがすごいにおどろいた。(北六甲台、6歳、女)
- ・ かるがも親子がかわいかった。アカトンボ赤かった。秋だなと思った。(荒茂町、7歳、女)
- ・ 草むら原っぱがへっている。もっと、どろんこや歩いてやわらかい道があってもいいと思った。(南甲子園、7歳、男)
- ・ 家がたくさんたってきて自然が少なくなってきた。(甲陽園日神山町、8歳、女)
- ・ 泉町にもヒグラシが少しだけいます。(泉町、8歳、男)
- ・ 隣の家のキンモクセイの木に、ここ2・3年ハトが巣を作って卵を産んでいます。(松下町、8歳、男)
- ・ 自然にみせかけて相手が見つけれない虫がいて、本当に人間が見ても見つけにくいことがわかった。(松風町、8歳、男)
- ・ 森林公園に行ったとき、葉っぱと同じ色をしたトカゲがいてびっくりした。(甲陽園本庄町、9歳、女)
- ・ 空き地に色々な虫がいたけれども、そこに家が建って虫がいなくなりました。(上田市、9歳、男)
- ・ 普段は余り見ないけど、探してみれば見つけられてうれしい。(上ヶ原七番町、10歳、男)
- ・ 何もなしの仁川にたくさん魚(カワムツなど)がいたこと。(仁川町、10歳、男)
- ・ チョウとかはすぐ見つけたけど、カマキリとかが見つけれなかった。(西宮浜、10歳、女)

- ・ 西宮にはたくさん自然があるからその自然を大切にしたい。(仁川町、11歳、女)
- ・ 学校帰りに絶対生物に会います。豊かな緑がずっと続けばいいと思う。(不明、12歳、女)
- ・ 昔は見つけやすかった虫が、気づいてみるとあまり見れなくなりましたことにびっくりした。(不明、12歳、女)
- ・ 少しの草むらにたくさん自然があるんだと思った。(上田市、13歳、女)
- ・ コウモリとかが身近にいるんだあとと思いました。(獅子ヶ口町、13歳、男)
- ・ 昔はたくさんいたカタツムリが、最近ではほとんど見つけられなくなった。(名塩東久保、13歳、女)
- ・ 自分が小学生の頃より減ったかも、と思った。(樋之池町、15歳、女)
- ・ 神社の近辺に自然があった。(不明、15歳、男)
- ・ セミが一本一本の木に密集していて、セミの数に木の数が追いついていなかった。ヒヨドリも同様。(城ヶ堀町、15歳、男)
- ・ まだまだ生き物はいるんだあとと思った。私たちが気にしていれば結構残っているのだと思う。(甲東園、15歳、女)
- ・ 昔は私の家のまわりはすべて田んぼでカエルの鳴き声がしていたけど、今ではさくことがなくなった。(上ヶ原九番町、15歳、女)
- ・ 意外な生物が案外身近にいて驚いた(特にコウモリ)。(今津巽町、16歳、女)
- ・ いらない生物が多かった。やっぱり水が汚いことや、森などの自然が少ないせいでと思う。(前浜町、16歳、女)
- ・ 天候の事もあり、あまりくわしく調べられなかった。でも、ふとした所で発見することもあったので、生きものの強さを感じた。(甲子園町、16歳、女)
- ・ 意外と身近なところに自然や生きものがあって、都市化しつつある所に残っている自然を大切にしなければいけないと思った。(東町、16歳、女)

### 【おとなからの声】

- ・ 思った以上に生きものはいませんでした。そして、私自身生きものがないことに今まで気付かなかったです。(城ヶ堀町、28歳、女)
- ・ 意識するとしないでは大違いだなと思いました。子どもと一緒にゆっくりペースで散歩するようになり、今まで見えていなかったものも見えるようになった気がします。親子で生きもの名前をたくさん覚えていきたいです。(宮西町、31歳、女)
- ・ ほんの10年くらい前にはもっと緑が残っていた。道がアスファルトに固められていた。そこにいたアリやバッタ、コオロギ、テントウムシなど、見つけなくても目に入っていた虫たち。今は見つけなくちゃいけないのか。少し悲しいような。(薬師町、33歳、女)
- ・ 今回の調査で家族のつながりができ、また身近な地域を見直すことができました。(獅子ヶ口町、39歳、男)
- ・ もともと自然環境に恵まれた地域だったが、人口増加ですっかり変わってしまった。北に森林、南に海浜、と昔から人々が守ってきたものをこれ以上破壊することなく、そこから命をふきかえしていくといいと思う。(小松東町、40歳、女)
- ・ その気になって見るとたくさん昆虫や植物などの生物に出会って、とても豊かな気持ちになることができた。(松風町、43歳、女)
- ・ 休日の朝、夙川を散歩してカワセミを見た時は驚きました。それ以来、朝の散歩が楽しみになりました。(越水町、45歳、男)
- ・ 自分の行動半径の狭さに気がつきました。その中でも自然を目にすることができてよかったと思います。(松原町、53歳、女)
- ・ 昆虫採集に取り組むまじめな男の子を多数見ました。また、それに協力するお父さんお母さんも多く見ました。(大畑町、53歳、男)
- ・ 今回の調査に参加し、普段気にとめない動植物に注目するようになり屋の散歩の楽しみができました。(神戸市北区、54歳、男)
- ・ 近くに八幡神社があり、夏は早朝からセミの声で起こされています。子どもの頃は夏休みに帽子と虫取り網を持って一日中、ギンヤンマやセミ、キリギリス採りで遊びまわっていました。この上鳴尾町界隈です。(上鳴尾町、54歳、男)
- ・ 温暖化のせいか、クマゼミが六甲山を越えて裏六甲の方へ勢力を伸ばしている(昔はほとんど見かけなかった)。池、水溜り、水田などが減った為、オニヤンマ・ギンヤンマ等大型のトンボ類が激減した。カラスアゲハ・ミヤマアゲハが見かけられなくなった。(不明、59歳、男)
- ・ カラスが近くで巣を作るようになって、スズメがいなくなった。(甲陽園、64歳、女)
- ・ 森や山でなく、住宅地の空地に生きものが多いことに意外な気がした。(樋之池町、67歳、男)
- ・ ここ2、3年ほど前から名塩川にも「ホタルの乱舞」が見られるようになり本当にうれしいことです。(名塩茶園町、70歳、女)
- ・ ツバメが減った。ヒヨドリが増えた。(樋之池町、70歳、男)
- ・ 去年は現れたコゲラ・モズが今年は姿を見せなかった。(柏堂町、81歳、男)

# 西宮市環境学習都市宣言文

## [ 宣言文 ]

いま、地球は危機に瀕しています。これまでの社会経済活動や私たち人間のくらしが、地球温暖化や砂漠化などの問題を引き起こし、自らの生存基盤でもある環境を脅かしています。

西宮市では、市民が主体となって、六甲山系の緑の山並み、武庫川・夙川などの美しい河川、大阪湾に残された貴重な甲子園浜・香櫛園浜をはじめとした豊かな自然を守るとともに、公害問題にも取り組むなど、良好な環境をもつ都市を目指してきました。また、阪神・淡路大震災の体験を通じて、自然の力の大きさとその中で生かされている私たちの存在を改めて学びました。

西宮の環境を、そして地球の未来を次世代に持続可能な状態で引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが社会のありかたやくらしを見直さなければなりません。

環境学習とは、私たちのくらしが自然にどう支えられ、自然をどう利用してきたかを考え、環境に対する理解を深め、自然・歴史や文化・産業・伝統といった地域資源を活用しながら、地域や地球環境との望ましい関係を築いていくために学びあうことです。

私たちは、世代を超えて、家庭・地域・学校・職場などの様々な場所で、市民・事業者・行政の協働によって、人と人との新しい交流を生み出し、環境学習活動を支えるしくみをつくっていきます。

西宮に住み、学び、働くすべての人々が、文教住宅都市宣言（1963年）、平和非核都市宣言（1983年）の精神とあゆみを再認識し、環境学習を軸とした21世紀の持続可能なまちづくりを進めることをここに宣言します。

## [ 行動憲章 ]

私たち西宮市民は、参画と協働の環境学習を通じて、21世紀の世界に誇ることのできる持続可能な都市を実現します。

1. 私たちは、自然のすばらしさを体験し、歴史、文化や産業と環境との関わりを学びあい、環境に配慮した行動を実践できる市民として育ちます。
2. 私たちは、市民・事業者・行政・各種団体・NPOなどとのパートナーシップの精神に基づいて、地域社会に根づいた環境活動を進めます。
3. 私たちは、くらしと社会を見直し、資源やエネルギーを大切にされた循環型都市を築きます。
4. 私たちは、健康で文化的なくらしの中で、人と自然、人と人とが共生する、公正で平和な社会を実現します。
5. 私たちは、すべての生物が共存できる豊かな地球環境を次世代に引き継ぐため、環境学習を通じ、世界の様々な地域の人々とのネットワークづくりを行います。

平成15年12月14日 西宮市

市民自然調査の結果は西宮市ホームページ「西宮の環境」でも公表しています。

<http://kusunoki.nishi.or.jp/homepage/kankyotop/kanhozen/>

平成15年度（2003年度）市民自然調査 調査結果報告書

平成16年（2004年）3月

発行：西宮市 環境局 環境緑化部 環境都市推進課 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 TEL：0798-35-3803

協力：NPO法人こども環境活動支援協会（LEAF）